

第8回	<p>発達1 発達の研究法と発達理論 看護に限らず、日常生活場面においても「生涯発達」のように見かけることも多い発達とはどのようなものかについて学ぶ。特に看護では、「小児看護」「成人看護」「老年看護」のように発達段階に応じた内容でカリキュラムが構成されていることから、その理解はとても重要なものとなる。この章では、発達の定義や研究法、発達理論などを理解し、この先の各発達段階の理解の基礎を作ることを目的とする。</p> <p>key words：縦断的研究と横断的研究、コホート要因、ピアジェ、フロイト、マラー、エリクソン、ハヴィガースト</p>	大石 武信
第9回	<p>発達2 各発達段階 胎児期・乳児期 近年、人間の発達とは受精から死までの生涯発達の考え方が主流である。当然その流れはどこかで突然切れるものではなく、連続性を持っている。その中でも大きく変化する段階がある。この回では産まれる前の胎児期と出生後の乳児期を取り上げ、その特徴を理解する。</p> <p>key words：聴覚の発達、視覚の発達、知覚の狭窄化、愛着（アタッチメント）、ホスピタリズム、母性剥奪、自己の芽生え</p>	大石 武信
第10回	<p>発達3 各発達段階 幼児期・児童期 乳児期に続き外部からの刺激の処理能力の向上である幼児期の知覚についてまとめるとともに、大人とは違う処理をしている点も挙げる。その後の児童期では、それまでの刺激の処理能力の安定とともに、最も重要な社会性の獲得に重点を置いてまとめる。</p> <p>key words：第一次反抗期、共感覚、言語の発達、informal group(非公式集団)とformal group(公式集団)、ピグマリオン効果</p>	大石 武信
第11回	<p>発達4 各発達段階 青年期 おそらく本講義を受講している人の多くがこの青年期に相当するのではないだろうか。この章では、子供から大人への移行期である青年期とはどのようなもので、どのような特徴があるのかを学ぶ。自分自身のこれからの人生を考える意味でも自分に置き換えながら理解を進めてい居て欲しい。</p> <p>key words：第二次反抗期、アイデンティティ（自我同一性）の確立、モラトリアム</p>	大石 武信
第12回	<p>発達5 各発達段階 成人期 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間アイデンティティの確立を始め、様々な課題の達成を求められる激動の青年期の後が成人期である。そのため一見すると安定した印象を持つことがある。しかしながら、社会や家族など組織の一員としての役割が重視されるようになり、その変化による困難も同時に出てくる。一般に考えられている誤ったイメージとの相違を含めて理解していくことを目的とする。</p> <p>key words：1次的老化と2次的老化、認知的変化、結婚と家族、タイプA</p>	大石 武信
第13回	<p>発達6 各発達段階 老年期 心理学のみならず、医学の面からも老化（加齢）現象をしっかりと扱いだした歴史は実はまだ浅い。これは世界的に平均寿命の上昇など高齢化が進み、人口に占める高齢者の割合が多くなってきたため必要に迫られた側面がある。実際、研究が進み多くの知見が得られてきてはいるが、高齢化の速度に追い付いていないとも言える。その中で、一般には勘違いされている点も含め、高齢者の特徴を学んでいく。</p> <p>key words：加齢・老化・aging、パフォーマンスとコンピテンス、流動性知能と結晶性知能、老性自覚</p>	大石 武信
第14回	<p>人間の欲求と動機 人間の行動の原動力となっているエネルギーについて、心理学的観点から学ぶ。特に看護においては「マズローの欲求階層説」に関する出題が頻発することもあり、しっかりと理解していくことが国家試験対策にあるだけでなく、患者に対する援助においても大切である。</p> <p>key words：マズローの欲求階層説、外発的動機と内発的動機、欲求不満、葛藤、適応機制</p>	大石 武信
第15回	<p>コミュニケーション 人間は様々な手段を使って他の人や集団との情報交換・共有を行っている。その情報交換であるコミュニケーションとはどのようなものがあるのか、どのような効果があるのかを理解し、生活や仕事の中で役立てていけるようにすることを目的とする。</p> <p>key words：ノンバーバル（非言語的）コミュニケーション、バーバル（言語的）コミュニケーション、開かれた質問と閉ざされた質問、傾聴</p>	大石 武信
科目の目的	心理学は人間の行動を研究する学問である。そのため、患者に対応する医療・看護の領域においてもその知見は応用が利くものも多く、その知識は必須である。また、日常生活の中にも知らず知らずのうちに理論が使用されているものも多い。ニュースや事件などの雑談にも心理学的見地からの説明を行い、学問的・世間的な興味を高め、視野を広げていくことを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学諸理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学、生命倫理、哲学、人間と宗教、生活文化と医療、AI・ロボットと社会、コミュニケーション学入門、基礎統計学、情報処理、メディアリテラシー、スタディ・スキルズ、アカデミック・スキルズ、多職種理解と医療コミュニケーション	

成績評価方法・基準	定期試験（定期試験・70％）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の授業に関連するトピックについて読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備しておく。予習・復習時間は合わせて180分程度。本科目は90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分（15コマ）となるため、60時間分相当の準備学習が必要となる。
教科書	大石武信（2020）「ザ・ベーシック・サイコロジー ―これを知らなきゃ看護はできない心理学」サイオ出版
参考書	適宜紹介
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	実施する。毎講義終了時に扱ったテーマについてまとめる振り返りの実施。必要に応じてディスカッションも行う。
ナンバリング	NBa-101

講義科目名称： 教育学

授業コード： 5N002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループディスカッション、グループワーク等を含みます） 15回		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤 哲也
	第2回	教育とは？ 人の学び方の特徴や潜在的なカリキュラムが及ぼす影響など、教育を受ける側に視点を当て教育という行為を見つめ直すことにより、その困難さや奥深さなどについて考える。	安藤 哲也
	第3回	戦後日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤 哲也
	第4回	現在の学校教育 近年の中教審答申や学習指導要領を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤 哲也
	第5回	現代的な学校課題 近年、継続的な課題となっている「不登校」を取り上げ、その特徴や傾向、想定される要因など、多角的に調べることを通して、求められる支援の在り方を具体的に考える。	安藤 哲也
	第6回	新しい教育の在り方 「特別の教科 道徳」を取り上げ、教科書に基づく授業を具体的に体験することを通して、従来の指導方法から「考え、議論する道徳」への転換を図る指導方法の意義について考える。	安藤 哲也
	第7回	世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤 哲也
	第8回	世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤 哲也
	第9回	子どもの思いに基づく教育 子どもの自発性や主体性を大切に幼児教育に焦点を当て、その基本を理解することを通して、教育の原点といわれていることの意味を考える。	安藤 哲也
	第10回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤 哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤 哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する3つの視点から、子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤 哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤 哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤 哲也

	第15回 「教育学」をどう活かすか? ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤 哲也
科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。	
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解	
関連科目	発達心理学	
成績評価方法・基準	①毎回の授業のリアクションペーパー（振り返り）の内容と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が80%、②が20%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、次回の授業の冒頭で、参考例を示しつつ評価の観点から解説を行い、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、後日、個々に返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、授業中に記述したワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。	
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。	
参考書	参考書は授業内で適宜、紹介します。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク等	
ナンバリング	NBa-102	

講義科目名称： コミュニケーション学入門

授業コード： 5N003

英文科目名称： Introduction to Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
諸星 聡美			

授業形態	演習（各回、個別／グループワークを予定）（8回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション，コミュニケーションについて	諸星 聡美
	第2回	知覚プロセス	諸星 聡美
	第3回	自己と他者	諸星 聡美
	第4回	オーラルコミュニケーション	諸星 聡美
	第5回	ノンバーバルコミュニケーション（1）	諸星 聡美
	第6回	ノンバーバルコミュニケーション（2）	諸星 聡美
	第7回	自己開示と自己呈示	諸星 聡美
	第8回	現代社会における対人コミュニケーション	諸星 聡美
科目の目的	私たちはあたり前のようにコミュニケーションを行っている。しかし、コミュニケーションについて体系的に学ぶ機会はありません。 「コミュニケーション不全」「コミュニケーションの失敗」による人間関係上の問題は多くあり、”うまくコミュニケーションを行えていない”現状があると思われる。本講義を通じて、人と人が大きな齟齬なく理解しあったり、問題を共有し、問題解決のために考えたりするための基礎とするための教養としてのコミュニケーションについて学ぶ。		
到達目標	1. コミュニケーションとは何かについて説明することができる。 2. 実際にコミュニケーションスキルを用いることができ、社会生活において適切に活かすことができる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解		
関連科目	多種職理解と医療コミュニケーション，心理学入門，臨床心理学		
成績評価方法・基準	授業内小レポート（授業回毎）：100%（次回講義にてフィードバックを行う）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：参考書などを利用しコミュニケーションに関する興味関心を高める（2時間程度）。 復習：配布された資料や講義を受けての各自のメモなどを用いて復習し、わからないことは調べたり、次回授業で聞くことができるようにする（2時間程度）。		
教科書	使用しない		
参考書	岡野雅雄（2008）．わかりやすいコミュニケーション学：基礎から応用まで 三和書籍 藤田依久子（2022）．新版対人コミュニケーション入門 ナカニシヤ出版		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	1）授業計画は受講学生数と受講学生の希望で一部変更することがあります。変更の場合は事前に周知します。 2）原則として初回授業に出席していない学生の履修は認めません。履修するか悩む場合でも必ず初回授業に出席してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	実施する（個人ワーク，グループワーク）。		
ナンバリング	NBa-103		

講義科目名称： 健康スポーツ理論

授業コード： 5N004

英文科目名称： Sports Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義 (14回) ・ 演習 (1回)	担当者
授業計画	<p>第1回 健康管理概論 講義説明 ①講義の狙い：理論を「自分事」にする本講義のテーマは「健康と運動」「老化と寿命」だが、単なる知識の暗記ではない。「聞く」から「試す」へ：講義で学んだ理論をもとに、実際に自分の体をどう動かし、どう管理すべきかを実践する場である。</p> <p>②生涯のスキル：10代の今の体と、将来の体の変化（老化）を予測し、自分自身の「健康マネジメント能力」を養う。</p> <p>③成績評価の方法は、定期試験90%。全範囲から授業内で重要な箇所から出題する。ただし毎回の授業で「ここが重要！」と明示する。 小テストは10%で第15回に実施する。柔軟性（昨年度は前屈ストレッチングと開脚ストレッチング）と生活習慣の関係を問う核心的なポイントである。</p> <p>以下は第一回講義内容（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーション（健康づくり） 予防医学 生活習慣病（NCD）概論 	衣川 隆
	<p>第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 2. 健康日本21（第二次）（2013）とは？ 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病</p>	衣川 隆
	<p>第3回 生活習慣病（NCD） 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物（がん） 6. 認知症</p>	衣川 隆
	<p>第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動</p>	衣川 隆
	<p>第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法</p>	衣川 隆
	<p>第6回 健康づくり運動の理論（トレーニングと筋肥大・栄養・骨） 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件（主にコンセンソリック） 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養（トレーニング50対栄養50） 5. 骨について</p>	衣川 隆
	<p>第7回 健康づくり運動の理論（ストレッチ） 1. ストレッチングの種類は大きく分けて2種類</p>	衣川 隆
	<p>第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは</p>	衣川 隆
	<p>第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは</p>	衣川 隆
	<p>第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック</p>	衣川 隆

	<p>第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？</p> <p>第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する</p> <p>第13回 健康についての雑学（食事・栄養） 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物</p> <p>第14回 健康についての雑学（心・体） 1. 健康とこころ（心理学に学ぶ） 2. アナトミートレイン 3. その他</p> <p>第15回 スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は前屈ストレッチングと開脚ストレッチング）を実施する。</p> <p>小テストは10%で第15回に実施する。柔軟性と生活習慣の関係を問う核心的なポイントである。 評価方法は、日本整形外科学会や日本リハビリテーション医学会で定められている基準をもとに評価していく。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>
科目の目的	<p>「健康と運動」・「老化と運動」に関しその維持と増進方法についてのメカニズムを知り、なぜ運動が重要なのかを理解することを一つの目的とする。 特に有酸素運動と筋トレやストレッチングの効果は、心肺機能・呼吸器の向上や筋力の向上と柔軟性だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、正しい姿勢の予防・改善、高齢者生活の障害を低減すること等を、自分自身でも実践しながら理解できるようにする。また本講義で得た知識やその効果を、未来の医療従事者として、地域社会の人々に発信できるよう基礎を学ぶ。 一方で日常生活やスポーツを行な時に、その能力を高めたり継続することに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起こり得る問題の対策を学習し、考察することにより理解力を深めることを目的とする。</p>	
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチングの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心構えができる。まずは今から実践できその習慣を身に付けることができる。また地域社会に発信できるように、まずは家族や友人関係と、健康とスポーツについては発信し考察できる。 一方でスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に身に付けた知識を取り組める。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	<p>関心・意欲・活動、コミュニケーション・協調</p>	
関連科目	<p>健康スポーツ実技</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（90%）、授業内の小テスト（10%） 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内の小テストは1回実施して10点満点とする。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性の小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】 本講義の質を高め、自身の健康意識を変革するために、以下の「セルフモニタリング」を実践してください。</p> <p>生活リズムの記録と管理：自身の1日の生活スケジュール（食事のタイミング、睡眠時間、活動量）を把握しておくこと。</p> <p>身体活動の実践：1日30分程度の運動（ウォーキング、ストレッチング、階段利用など）を意識的に取り入れ、その際の体調の変化や気づきをメモしておくこと。</p> <p>講義との照らし合わせ：授業で学んだ「栄養」「睡眠」「老化」の理論を、自分の実生活に当てはめて振り返る習慣をつけること。</p> <p>【学習時間の目安】 週に60分程度（1日あたり約10分の振り返り、および週単位での生活習慣の確認） 内訳：予習（講義資料の確認）30分、復習（生活実践の振り返り）30分</p>	
教科書	<p>アクティブアカデミーにて授業資料を配布する。</p>	
参考書	<p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>	
オフィス・アワー	<p>「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照</p>	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	RBa-104

講義科目名称：健康スポーツ実技

授業コード：5N005

英文科目名称：Practice in Sports Science

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	スポーツの実技 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション ◎オリエンテーション 1. アクティブ・ラーニングの導入：単に動くだけでなく、ペアやグループで「動作の分析」や「励まし合い」を行う。 2. 班編成&チームビルディング：「トレーニング・パートナー」の決定。 3. 安全確認ルールの共有。 4. トレーニング・スキルの説明) 5. 5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」の正しい実施方法とポイントを伝授する。 6. Preテストの実施：現在の数値を測定し、自分の「伸びしろ」を確認する。 7. 成績評価と小テスト（60点）と自己分析レポート（40点）作成についての説明する。 評価基準の明確化 小テスト：A（基準とする回数または可動域、記録ができた）、B（基準とする回数または可動域、記録が半分できた）、C（基準とする回数または可動域、記録ができなかった） 自己分析レポートは、Preでの現状説明（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）・Post（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）を具体的に書く。（努力のプロセスと成果のバランス） 8. 5項目の小テスト実施計画日について。</p> <p>※新体力テスト導入後の平成10年頃と令和4年度を比較すると、男女とも上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走がほとんどの年代で令和4年度の方が高く、握力とボール投げはいずれの年代でも低い結果となっている。</p>	衣川 隆
	<p>第2回</p> <p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投能力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
	<p>第3回</p> <p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：5項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆

第4回	<p>小テスト跳躍力①とPreテスト 小テスト跳躍力①</p> <p>Preテスト 4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力①のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力①・②、投能力、握力のトレーニング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第5回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力②、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第6回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：4項目のサーキットトレーニング解説：「跳躍力②」「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、跳躍力②、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第7回	<p>小テスト跳躍力②とPreテスト 小テスト跳躍力②</p> <p>Preテスト 3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第8回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>投能力のサーキットトレーニングを中心に、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班別サーキット：日本肩関節学会による先行する研究から、山口・浜田らによる研究を概要としたサーキットトレーニングをしていく。投げるのみならず捕ることもサーキットの一部とする。</p> <p>投球動作は、野球やソフトボールのみならず、テニス、バレーボール、バドミントンといった多様な球技においても、共通する運動能力を構成する動作である。こうした動作は神経系の発達が著しい幼児・児童期に獲得されやすく、成人初期のこの時期に多様な身体活動を経験させることは、将来的な運動能力や障害予防にとって非常に意義がある。成人初期の身体的成長に対して機能的成長が追いついていない現状を踏まえ、適切な運動経験の提供が重要な課題である。</p>	衣川 隆

第9回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：3項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>投能力のサーキットトレーニングを中心に、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班別サーキット：日本肩関節学会による先行する研究から、山口・浜田らによる研究を概要としたサーキットトレーニングをしていく。投げるのみならず捕ることもサーキットの一部とする。</p> <p>投球動作は、野球やソフトボールのみならず、テニス、バレーボール、バドミントンといった多様な球技においても、共通する運動能力を構成する動作である。こうした動作は神経系の発達が著しい幼児・児童期に獲得されやすく、成人初期のこの時期に多様な身体活動を経験させることは、将来的な運動能力や障害予防にとって非常に意義がある。成人初期の身体的成長に対して機能的成長が追いついていない現状を踏まえ、適切な運動経験の提供が重要な課題である。</p>	衣川 隆
第10回	<p>小テスト投能力とPreテスト 小テスト投能力</p> <p>Preテスト 2項目のサーキットトレーニング解説：「投能力」「握力」「柔軟性」</p> <p>跳躍力②のサーキットトレーニングを中心に、投力、握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆
第11回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「握力」「柔軟性」</p> <p>握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：タッチラグビー。ほとんどが初めてラグビーを行うのではないかと鑑み、簡単なルール説明をする。ラグビーは前に投げてはいけないスポーツなので、「歩きながらパス」からスタートし、ランニングパスのサーキットを始める。ラグビーは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第12回	<p>球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「握力」「柔軟性」</p> <p>握力のトレーニングとストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：タッチラグビー。ほとんどが初めてラグビーを行うのではないかと鑑み、簡単なルール説明をする。ラグビーは前に投げてはいけないスポーツなので、「歩きながらパス」からスタートし、ランニングパスのサーキットを始める。ラグビーは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川 隆
第13回	<p>小テスト握力とPreテスト 小テスト握力</p> <p>Preテスト 1項目のサーキットトレーニング解説：「柔軟性」</p> <p>ストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p>	衣川 隆

	<p>第14回 球技・トレーニング ◎基礎体力作り：2項目のサーキットトレーニング解説：「柔軟性」</p> <p>股関節のストレッチング実施する。 ※努力のプロセスと成果のバランスをハンで話し合う。</p> <p>班対抗戦：バドミントン。バドミントンは、老若男女において取り組みやすいスポーツであるため、生涯にわたって行っていくかのせいもあるスポーツである。授業でバドミントンをを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、順次にローカルルールを再度検討する。バドミントン経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p> <p>第15回 小テスト柔軟性 小テスト柔軟性</p> <p>授業中に課題を出した股関節外転と前屈（柔軟性）小テストを実施する。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>
<p>科目の目的</p>	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチングを行い、学生自身が体力をつけることを狙いとする。また一人でも簡単にできる筋力トレーニングやストレッチングを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。</p>	
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と体力の重要性を理解し、自らの意志で維持向上をする仮説を立てそれを実行することができる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける基軸を検討することができる。 3. 地域社会の生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整えるための発信力を持つ準備ができる。 4. 学生相互のコミュニケーションを積み重ね、スポーツの現場でみんなが楽しく効率的かつ円滑に進行する共同的な行動ができる。 	
<p>「ディプロマ・ポリシー」キーワード</p>	<p>多様性理解・尊重、コミュニケーション・協調</p>	
<p>関連科目</p>	<p>健康スポーツ理論</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>授業時間内の小テストと自己分析レポートをもって評価する。</p> <p>成績評価と小テストは授業内に5回実施する（15点×5回、60点）。自己分析レポート（40点）はアクティブアカデミーを使用して作成提出する。</p> <p>評価基準の明確化 小テスト：A（基準とする回数または可動域、記録ができた）、B（基準とする回数または可動域、記録が半分できた）、C（基準とする回数または可動域、記録ができなかった）</p> <p>自己分析レポート：Preでの現状説明（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）・Post（生活、運動常況、3つの筋肉の状態）を具体的に分析し論じる。</p>	
<p>準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安</p>	<p>【準備学習の内容】 本講義の質を高め、自身の健康意識を変革するために、以下の「セルフモニタリング」を実践すること。</p> <p>生活リズムの記録と管理：自身の1日の生活スケジュール（食事のタイミング、睡眠時間、活動量）を把握しておくこと。</p> <p>身体活動の実践：1日30分程度の運動（実技の実践など）を意識的に取り入れ、その際の体調の変化や気づきをメモしておくこと。</p> <p>講義との照らし合わせ：授業で学んだ「栄養」「睡眠」「老化」の理論を、自分の実生活に当てはめて振り返る習慣をつけること。</p> <p>【学習時間の目安】</p> <p>週に60分程度（1日あたり約10分の振り返り、および週単位での5項目のサーキットトレーニング実施：「跳躍力①・②」「投能力」「握力」「柔軟性」）</p> <p>内訳：予習（実技の実践）30分</p>	

教科書	使用しない。
参考書	「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	CBa-105

講義科目名称： 文学

授業コード： 5N006

英文科目名称： Literature

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイダンス：「文学」とは何かを考える。 ◎ガイダンス 文学作品には、多様な人間模様や文化、歴史、そして切実な社会問題が刻み込まれている。作品を読むことは、一度きりの人生では決して出会えない人々や事柄に遭遇し、その経験を共有し、意味を問い直すプロセスである。それは、多様な人間や社会への理解を深めることであり、まさに「あなたはどうか生きるか」という普遍的な問いに能動的に向き合うことでもある。</p> <p>本科目では、日本文学の作品鑑賞を通じて、自己や他者、そして社会に対する多角的な視点や共感力を養い、「どう生きか」を探求する。また、近代・現代日本語の美しい響きや表現に触れることで、感性を磨き、自らの考えを論理的かつ豊かに表現する「文章力」の向上も目指す。</p> <p>【成績評価について】 成績評価は、学期末のレポート（100%）によって行う。</p> <p>評価のポイント： 単なる感想ではなく、講義で扱った視点や分析手法が反映されているかを重視する。 詳細説明： レポートの具体的なテーマや執筆ルールについては、第15回目の講義にて詳しく説明する。</p> <p>事前の準備： 毎回の講義で得た気づきや考察をメモしておくことが、質の高いレポート作成への一番の近道となる。</p> <p>◎一回目の講義内容 1. 講義の流れ 2. 代表的な作詩者について考える。メッセージ力とは何か、どこから生まれてくるのだろうか。 3. 世界的に愛される詩の秘密を考察する。 4.</p> <p>第2回</p> <p>芥川龍之介概論 1. 高校時代読み学んだ小説「羅生門」をどのように読み取ったかを振り返ってみる。 2. 芥川龍之介について説明する。 3. 芥川龍之介の生涯を学んで、小説「羅生門」を読み直す。今までと違った感じ取り方を味わうことができる。 4. まとめシートに記入する。 ※事前学習で芥川龍之介と「羅生門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第3回</p> <p>宮沢賢治概論 1. 宮沢賢治について説明する。 2. 「母親」の教えから、どのような人生を送ったのか、その人生の中にある「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第4回</p> <p>宮沢賢治『銀河鉄道の夜』から：前編 1. 「銀河鉄道の夜」と隠喩について説明する。 2. それぞれの場面における「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>第5回</p> <p>宮沢賢治『銀河鉄道の夜』から：後編 1. 「銀河鉄道の夜」と隠喩について説明する。 2. それぞれの場面における「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。 3. まとめシートに記入する。 ※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	<p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p> <p>衣川 隆</p>

第6回	<p>梶井基次郎概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 梶井基次郎について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「檸檬」を読み直す。「檸檬」の中に潜む「光と影」を読み取る。「得体のしれない不吉な塊」とは何か？どんな背景があるのか？また、多くの人が絶賛する「檸檬」の文章は、その内容もさることながら、並べ立てられていく言葉の流れそのものが美しかった。日本語というのはこんなに綺麗に、鮮やかに描くことができるのかと思った。」いると言われた箇所はどこか。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で梶井基次郎と「檸檬」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第7回	<p>宮崎駿概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿について説明する。 2. その人生の中にある「自己犠牲」「光と影」「人生の基軸」「心象スケッチ」について考察する。また「春と修羅」詩集「銀河鉄道の夜」等の児童文学を残し、現代を生きる作家や映画監督、ミュージシャン等にも影響を及ぼしているその理由を考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「宮沢賢治」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第8回	<p>結核と文学（宮崎駿『風立ちぬ』から前編）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第9回	<p>結核と文学 宮崎駿『風立ちぬ』から後編）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎駿と『風立ちぬ』と結核との関係を説明する。 2. 結核について文化史的側面から考察する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「風立ちぬ」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p> <p>※小レポート作成準備</p>	衣川 隆
第10回	<p>与謝野晶子と出産——『青海波』を読む——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 与謝野晶子について説明する。 2. 与謝野晶子と家族、出産について説明する。 3. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で宮崎駿と「青海波」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第11回	<p>夏目漱石概論——病と文学——前編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第12回	<p>夏目漱石概論——病と文学——後編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏目漱石について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。 3. 小説「門」を読む。門に隠された表現を探っていく。小説はまず主人公を読者に紹介しつければならない。主人公をどうやって印象付けるかを探る。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で夏目漱石と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第13回	<p>正岡子規概論——病と文学——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正岡子規について説明する。 2. 文学と病の関係について説明する。不治の病で床に伏し、激痛と闘いながらも森羅万象への好奇心を持ち続けた日々の記録を読む。 3. 正岡子規の俳句や短歌、文章の革新運動の表現を探っていく。 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で正岡子規と「門」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
第14回	<p>アラン概論 ——幸福論——</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アランについて説明する 2. 「詩的、文学的、そして哲学的」な幸福論はについて説明する。 3. 「アラン：幸福論」が教えてくれるものとは何か？ 4. まとめシートに記入する。 <p>※事前学習で「アラン：幸福論」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆

	<p>第15回 前回の復習と文学がひらくもの ◎アランについての復習と「幸福論」を読んで自分はどう生きるかについて考える。</p> <p>◎レポート作成についての説明 【レポートの目的（到達目標）】 本レポートでは、講義を通じて以下の能力を身につけたかを確認する。</p> <p>多角的視点：医療対象を身体的・心理的・社会的側面やその背景から捉え、文学作品の中に生命の尊厳や倫理観を読み取れること。 洞察力：文学やその近接ジャンルにおける表現から、現代医療に通じる今日的な問題を抽出できること。 論理的構成力：講義内容を踏まえ、自らの考えを「論文形式」で論理的に記述できること。</p> <p>【課題内容】 授業で取り上げた文学作品の中から1作品を選択し、以下のテーマでレポート（A3用紙）にまとめる。</p> <p>テーマ：「この作品を読み、私はどう生きるかー文学と人生の接点から考えるー」</p> <p>内容：作品の分析にとどまらず、人間の背景とその関わりについて自身の倫理観や死生観を交え、普遍的な視点で論じること。</p> <p>※事前学習で「文学がひらくもの」について図書館やインターネットなど利用して調べる。授業後は自分の考えをまとめる。</p>	衣川 隆
科目の目的	<p>時代を超越した文学の中には、人生の学びともなりこころの基軸ともなる。そこには光と影、生と死、愛と憎しみ、病と祈り、不安と恐怖、歓喜とその裏にあるものなど、言葉の中に表現されたテーマは実に多様であり、その表現方法も種々様々である。</p> <p>本科目の文学では、近代から現代までを取り上げ、俳句・短歌・詩・小説といったさまざまな文学ジャンルの魅力やその表現の奥にある深さや豊かさを理解し、生涯にわたって基軸になるような宝となりうるかもしれない文学的教養の扉を開いて行く。</p> <p>そして文学の世界を理解するために、映画、アニメーション等といった様々な近接ジャンルについても理解を深め、人間の創り出す物語とは何かという問題に向かい合う。</p> <p>一方で、病者の抱える苦悩や絶望といった内面的な問題を中心に置き、病者自らが記した小説・日記・俳句等から読み取り、それを医療従事者としてどのように理解し自らの医療行為に反映させることができるのかを考えることを目的とする。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権を尊重し、高い倫理観をもって社会に貢献する姿勢。 2. チーム医療を実践するための、コミュニケーション能力と協調性。 3. 医療技術専門職としての基礎的知識と技術、及び社会人としての教養。 4. 医療技術分野の諸課題を見出し、科学的洞察による確かな判断ができる能力。 5. 生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	知識・理解・表現	
関連科目	哲学、生命倫理、社会学、心理学入門	
成績評価方法・基準	期末レポート（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>【準備学習の内容】 講義の理解を深め、自身の思考を広げるために、以下の予習・復習を継続すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前（予習）：テキストの精読と問いの抽出（60分）。指定されたテキスト（文学作品や資料）を事前に精読し、「心が動かされた箇所」や「疑問に思った点」をメモして講義に臨む。また医療や生命の尊厳といった視点から、作品が提示している「課題」を自分なりに探しておくことが重要である。 ②. 授業後（復習）：講義内容の再構築と内省（30分） 講義で提示された分析視点や他者の意見を踏まえ、自分の初期の読みがどう変化したかを振り返る。学期末のレポートに向け、毎回の講義で得た「自分なりのキーワード」をノートに整理しておくことを推奨する。 	
教科書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布する。各自で印刷するか、パソコンを持参し講義資料を見るか各自で選ぶこと）。	
参考書	各テーマごとに講義資料を作成して配布する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		

<p>アクティブ・ラーニングの実施</p>	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
<p>ナンバリング</p>	<p>CBb-101</p>

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 5N007

英文科目名称： Humans and Religion

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
森 禎徳			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 人間と宗教 なぜ人間は宗教を必要とするのか。人間にとっての「超越者」の意義を考える。	森 禎徳
	第2回 神話と人間 (1) 神々が「人間的に」ふるまう多神教の物語、まずはギリシャ神話の世界を概観し、神話に含まれる教訓を学ぶ。	森 禎徳
	第3回 神話と人間 (2) ギリシャ神話に続いて日本神話の世界に触れ、神話と実際の歴史がどのようにリンクしているのかを学ぶ。	森 禎徳
	第4回 世界宗教 (1) 「世界宗教」のうち、キリスト教とその起源であるユダヤ教 (旧約聖書) について学ぶ。	森 禎徳
	第5回 世界宗教 (2) イスラム教の起源と教義を学ぶとともに、現代の世界におけるイスラム教の状況について考える。	森 禎徳
	第6回 世界宗教 (3) 仏教が目指す「悟り」「解脱」とは何かを考えると同時に、現代の日本人と仏教のかかわりについて学ぶ。	森 禎徳
	第7回 新宗教とカルト 新宗教とは何かを学び、一部の宗教団体がカルト化していった経緯を知ることで正しい信仰のあり方を考える。	森 禎徳
	第8回 神の存在証明 中世から近代の哲学においては、神の存在を証明する試みが隆盛した。その歴史と証明構造を概観する。	森 禎徳
	第9回 神の存在証明批判 ヒュームの経験論とカントの批判哲学を中心に、神の存在証明に対する批判を概観する。	森 禎徳
	第10回 知性と宗教 聖書に見られる反知性主義、キリスト教による科学の弾圧の歴史を通して信仰と知性の関係を考える。	森 禎徳
	第11回 道徳と宗教 カントの『単なる理性の限界内における宗教』を出発点に、信仰と道徳、信仰と自由の関係について考える。	森 禎徳
	第12回 平和と宗教 十字軍の歴史を通して異教徒 (異文化) 間の相互理解の可能性と限界について考える。	森 禎徳
	第13回 ホスピスの歴史と思想 シシリー・ソンドースの生涯と思想をたどりながら、ホスピスの原点とホスピス運動の展開について考える。	森 禎徳
	第14回 アイデンティティと宗教 「宗教二世」問題を通して、宗教によって自らの生き方を選ぶ機会を奪われた人たちの思いを考える。	森 禎徳
	第15回 医療と宗教 宗教的信条に基づく輸血拒否の事例をもとに、信仰は生命に優先するのかを考える。	森 禎徳
科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの相において人間にかかわりをもつ「宗教」とは何かについて考え、キリスト教を中心にその教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人	

	間の理解、さらに文化・社会の理解にも役立つだろう。また、医療と宗教のかかわりについても考える機会を設けたい。
到達目標	①宗教が人間にとって大きな意味を持っていることを知る。 ②宗教が人間の営みに対して時に有害な影響を行使したことも知る。 ③宗教と医療のあるべき関係について考えを深める。
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解
関連科目	哲学 生命倫理
成績評価方法・基準	期末レポート（100％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1コマ当たり4時間程度、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。授業中に参考文献や映画を紹介するので、気になった作品に触れてみてください。
教科書	教科書は使用しません。授業はパワーポイントを使って進行します。
参考書	授業中に必要に応じて紹介します。ただし、購入を強制するものではありません。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	集中力・注意力の減退につながるため、基本的に授業資料の配布は行いません。重要だと思ったことはノートに記録して復習に役立てるよう心がけてください。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受けつけます。
ナンバリング	NBb-102

講義科目名称： 芸術

授業コード： 5N008

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイダンス：なぜ芸術を学ぶのだろうか？ 「芸術」は、絵を描くことだけではありません。絵をながめたり、音楽を鑑賞したり、ドラマやアニメの物語の展開を考察したりしながら、人と人が結びつきます。スポーツだってプレイヤーの「表現」を鑑賞します。芸術が豊かで、幅広く、自由であることに気づきます。15回の授業を通して、自分の大好きなアートを発見しましょう。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ことばのアート 高校までの国語で、ことばのアート（言語芸術）について学びました。ことばのアートは、さらに、進化し続けています。ことばのアートの新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>表現の場：アートはどこにある？ 同じ作品でも、場所が変われば、感じ方も変わります。毎週発売される週刊漫画を楽しむに待つのと、コミックでまとめて読むのは少し違いますね。その作品が最も輝く場所で発表されます。アートが発表される場所について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>ファン：もう一人の作り手 これまでの芸術の学びは、作者について学ぶことが多かったのではないのでしょうか。多くの芸術は、読者や観客、ゲームならばプレイヤーに向けて発表されています。ファンがあってこそそのアートです。ファンの役割について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>からだ 「からだ」について考えるのは、医療の分野だけではありません。今、アートの世界で最も注目されているのが「からだ」です。アートの視点から身体について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>メッセージ：芸術は美しさだけではない（小テスト1） 芸術は、いつも強いメッセージを持っています。文章では難しく思えるメッセージでも、アートで感じるとすんなり納得できることもあります。芸術の可能性について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>物語のビジュアルイメージ化（能） 日本の伝統文化「能」を通して、物語をわかりやすく伝える文化について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>笑いの表現（狂言と落語） お笑い芸人さんは、実はものすごく文化に敏感です。鋭く時代をとらえ、ユーモアに包んで、人々を考えさせます。笑われるのではなく、笑わせる。笑いの技法について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>現代に生きる古典芸能（歌舞伎） 歌舞伎は、400年前に誕生した時から、常に最先端のアートでした。今も、初音ミクやアニメなどとコラボしながら、伝統文化も残している歌舞伎について学びます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>人形の表現と語る表現（文楽）（小テスト2） 世界中のアーティストが注目する人形浄瑠璃文楽。子ども向けの芸術ではなく、大人が夢中になる人形劇について学びます。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>先住民アートとゲーム：日本の物語の再生 21世紀になって先住民アートが世界中で注目され、その国の代表するアートの一つとなっています。日本の先住民アートについて学び、物語を伝承する時に、ゲームが果たす役割についても考えます。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：もはやサブカルチャーではない！ 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。</p>	東 晴美
	<p>第13回</p> <p>ミュージカル：「ライオンキング」と文楽 わかりやすく楽しい音楽劇のミュージカル。名作の一つ「ライオンキング」は日本の伝統文化とも深い関わりがあります。ミュージカルの自由な表現について学びます。</p>	東 晴美

	<p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 (期末テスト) ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。</p>	<p>東 晴美</p> <p>東 晴美</p>
科目の目的	<p>この授業では、芸術の楽しみ方について学びます。 まず、現代の芸術の楽しみ方について、「ことば」「表現の場」「ファン」「からだ」「メッセージ」をテーマに考えます。 次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の芸術を紹介します。 最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどのサブカルチャーの魅力について考えます。 具体例として、総合芸術といわれる舞台芸術を紹介します。これらのテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の伝統文化の特色を学ぶ。また、伝統文化が、日本の現代芸術に影響を与えていることを学ぶ。 ・サブカルチャーが、日本の現代芸術にとって重要な役割を果たしていることを学ぶ。 ・芸術を通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト (2回) 各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1コマあたり4時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習 (教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する)	
ナンバリング	NBb-103	

講義科目名称： 哲学

授業コード： 5N009

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBb-201	

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 5N010

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
新田 あゆみ			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 インTRODクシヨN 総論 授業全体の予定や授業の進め方などの説明、生命倫理の概要 第2回 生命倫理の基礎 (1) 生命倫理の社会的・歴史的変遷、四原則 第3回 生命倫理の基礎 (2) 生命倫理の理論 第4回 生命倫理の基礎 (3) 臨床倫理の四分割表 第5回 中絶 (1) 中絶を守る立場と問題 第6回 中絶 (2) 中絶を守る立場と問題 第7回 生命倫理の基礎と中絶のまとめ 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ 第8回 生命倫理の基礎と中絶に関するまとめと中間テスト 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題の確認 第9回 中絶 (3) 中絶を批判する立場と問題 第10回 中絶 (4) 中絶を批判する立場と問題 第11回 インフォームド・コンセント (1) インフォームド・コンセントの基本的な考え方、擁護する立場と問題 第12回 インフォームド・コンセント (2) インフォームド・コンセントを批判する立場と問題 第13回 難病 (1) 難病療養者が抱える問題 第14回 難病 (2) 難病療養者と生命倫理 第15回 中絶、インフォームド・コンセント、難病のまとめ 中絶、インフォームド・コンセント、難病に関する重要な問題のまとめ、期末試験 相談	新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ 新田 あゆみ
科目の目的	生命倫理・医療倫理の概要・諸問題を、講義形式だけではなく、ディスカッションを通して、自分で考える力を身につけることを目的としています。時事問題や学生の関心によって講義内容を変更する場合があります。	
到達目標	医療者は時に「医療者視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになること、また生命倫理の各トピックに関する倫理的問題を考察して、医療者として適切な判断ができるようになることを目指します。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	哲学、公衆衛生学、生活文化と医療、社会学、生物学、心理学入門	
成績評価方法・基準	中間テスト (50%)、期末テスト (50%) による総合評価。講義前に教科書、資料を読み、講義中の講師からの質問に対して、講義資料に従って的確に返答する学生を高く評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書を読むようにしてください。また授業に関する資料を配布しますので、資料に目を通してください。本科目は、90時間の学習が必要な内容で構成されている。授業は30時間分 (15コマ) となるため、60時間分相当の準備学習が必要となります。	
教科書	鎌田依里・峯村優一著 2023 『難病療養者のこころー心理臨床と生命倫理の視点からー』 創元社	
参考書	霜田求編 2018 『テキストブック生命倫理』 法律文化社	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	

履修条件・履修上の注意	授業開始時および授業中の私語禁止、授業中のスマートフォンおよび携帯電話の使用も禁止します。注意しても改善がみられない場合は退室を命じる場合があります。 保健師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の講師からの問いかけに答える、またディスカッションに参加するアクティブラーニングを実施
ナンバリング	NBb-104

講義科目名称： 法学（日本国憲法含む）

授業コード： 5N011

英文科目名称： Law（Including the Constitution of Japan）

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう。（15回）		担当者
授業計画	第1回 法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫	道下 洋夫
	第2回 法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第3回 日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第4回 日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第5回 憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第6回 憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第7回 憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第8回 憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第9回 民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第10回 民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第11回 民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第12回 民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第13回 刑法1 刑法の基本原則について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第14回 刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
	第15回 刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、健康保険制度による高度かつ安価な診療を受けたければ、医療を提供する側も受ける側も双方に各種医療関係法規の遵守が要求される。したがって医療関連の国家試験では、医療スキルの修得だけでなく医療関係法規の修得が要求されている。本科目は国家試験科目そのものではないが、国家試験で必要となる合格に必要な基礎力と応用力を底上げする極めて重要な「土台」となる科目である。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて代表的な法規を概観する。 ・国家試験に関連する各種医療関係法規、社会保障制度の理解につながる基礎知識を習得する。 ・関連する過去問を可能な限りつぶしていく。 ・社会人として生きていくのに必要な一般的法知識を習得する。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度		
関連科目	多職種理解と医療コミュニケーション、看護学概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、地域保健政策論、事業化・施策化演習、生命倫理		
成績評価方法・基準	定期試験（100％）：法律とは何か、また憲法・民法・刑法とはどんなものか、について理解できているかを測る筆記試験を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、90 時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30 時間分（15 コマ）となるため、60 時間分相当の準備学習が必要となる。授業は1回完結型の内容ではなく連続しており、かつ膨大な知識量を扱うため、講義後の復習、講義前の入念な予習を行なう必要がある。		
教科書	特にないが適宜、書き込み教材・資料・法令を配布するので、指示に従って各自用意して授業に臨むこと。		
参考書	特にないが、興味ある者は問い合わせされたし。		

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	PCやタブレット・スマホは使用せず配布するレジユメに直接書き込んでもらう（スライド資料そのものは提供しない）。 法学概論から過去問演習まで踏み込むため、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	NBc-101

講義科目名称： 社会学

授業コード： 5N012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
沼田 翔二郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBc-201	

	第13回 長寿祝いと老人観 高齢化社会を象徴する老いの民俗と、長寿祝いをみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第14回 高齢女性の活躍と道の駅 近年、「人生100年時代」といわれるようになり、社会で活躍する高齢者が増加しています。ここでは道の駅で活躍する高齢女性の暮らしに着目し、その元気の秘訣を探ります。	鈴木 英恵
	第15回 葬送儀礼と先祖供養 伝統的な葬送儀礼を取り上げ、死の予兆とは何か、人は亡くなると何処へ行くのか、などについて考えてみます。先祖供養のお盆、お彼岸などの行事の意味、地域的特色のある盆行事についてみていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、科学的医療ではなく、人びとの間で古くから実践されてきた伝統的な医療習俗を取り上げます。伝統的な医療習俗とは、世間の人びとが理解してきた病気への解釈、病気を治す方法など、民間の医療・療法が対象となります。いわゆる民間療法は医師や医療従事者以外の人が行う療法で、古い時代から人びとの生活に根付いてきました。このような民間の医療・療法の特徴を学ぶことで、人はどのように病気を理解し受け止めてきたのか、また如何にして健康を取り戻そうとしてきたのか、その心意や療法を習得することができます。日々医療技術は進歩し、病院や医療機関施設等では科学的医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えたと、お守り、お札(護符)など神仏の力、さらには家族や周りの友人の力を得て、それらを心の拠り所とし、病氣と向き合います。病氣を克服し、よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意こそが、過去から現在まで続いてきた医療習俗に属します。本講義をとおり、私たちの生活と医療とのかかわりを実感し、患者やその家族を支えるような思慮深い保健医療従事者になることを目的とします。	
到達目標	現代医療に通じるような、伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる力になります。今後、医療従事者を目指す学生の皆さんは、赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有することで、患者らとの円滑なコミュニケーションができると考えます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題を出しますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きを理解し信頼関係が築けること、の2点と考えます。患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間の尊厳と基本的人権、探求力と問題解決力、専門知識と基本的技術、多職種協働と地域社会活動の促進	
関連科目	生命倫理	
成績評価方法・基準	本講義ではレポート課題(60%)、授業内でのミニテスト(30%)、授業の理解度をはかるリアクションペーパーの提出(10%)で成績評価をします。レポート課題の提出は必須です。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	日常生活の中から病気、健康などに関すること(病気にならないように衣食住で心掛けていること、健康維持の方法など)に興味を持ってください。そして日常生活のなかで、本講義「生活文化と医療」に関連するような事柄、キーワードを考えてみてください。人は生きている限り、常に病いと向き合い、生きていきます。皆さんは体調が悪いとき、怪我をしたとき、どのようにして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分を含み、身近な人たち(父母、祖父母、友人、知人など)は如何にして健康を取り戻しているのかを注意深くみてみましょう。そこには身体から病気を排除するような意識が働いているはず。その意識こそが、現代における医療習俗に属します。必要な自己学習は、事前学習と予習、復習を含めて1コマあたり4時間程度です。授業前までにテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめましょう。	
教科書	教科書：『図解案内 日本の民俗』 福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編 (2012 吉川弘文館)	
参考書	参考書1：『日本人の一生：通過儀礼の民俗学』 谷口 貢・板橋春夫著 (2014 八千代出版) 参考書2：『医療民俗学論』根岸謙之助 (1991 雄山閣) 必要に応じて、資料を配布します。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	私語は他の受講者に迷惑になるので厳禁です。授業の出席だけでは単位取得は認めません。	
アクティブ・ラーニングの実施	本講義では、履修者の能動的な学修への参加を望むためアクティブ・ラーニングを行います。Think, Pair, Shareを重視し、積極的な学修への参加を取り入れます。主に、振り返り学習(講義で配布したコメントシートに「今日の学び・疑問等」を書き、「講義で学んだことを、次にどのように生かすか」を考え書くこと)に力を入れることで、学生自身の興味、関心を引き出します。また、場合によっては「生活文化と医療」が対象とする社会的な出来事について、グループ・ディスカッション(テーマについて自由に話し合い、意見交換をして整理・分析し、結論を導き出し発表をする学習方法)を行います。	
ナンバリング	OBc-203	

講義科目名称： 多文化理解

授業コード： 5N014

英文科目名称： Intercultural Understanding

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 多文化理解に関する用語の整理 多文化理解について学ぶ際に必要となる用語を学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第2回 アメリカ型多文化主義① アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第3回 アメリカ型多文化主義② アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第4回 アメリカ型多文化主義③ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第5回 アメリカ型多文化主義④ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第6回 アメリカ型多文化主義⑤ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第7回 アメリカ型多文化主義⑥ アメリカ型多文化主義について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第8回 エスニシティ エスニシティについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第9回 性・ジェンダー① 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第10回 性・ジェンダー② 性・ジェンダーについて学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第11回 教育・職業・社会経済的屬性 教育・職業・社会経済的屬性について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。 期末レポート課題の提示と説明。	徳永 慎也
	第12回 宗教 宗教について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也

	第13回 障害者 障害者について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第14回 年齢・世代 年齢・世代について学ぶ。 講義の最後10分程度で講義内容について質問・コメントなどを提出。 コメントへの回答や講評は、次回授業の始めに実施する。	徳永 慎也
	第15回 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 第2回から第14回講義の復習（重要事項の確認） 多文化理解を学ぶ意義を再度確認する。	徳永 慎也
科目の目的	現代社会において、多様な価値観や文化的背景を持つ人々と相互理解を深めることはますます重要となっている。本科目では、異なる地域や言語、社会的価値観、文化的特性を持つ人々とのコミュニケーションを円滑に行うための基盤となる多文化や多様性の重要性について学ぶ。また、個人および集団間の相互関係において、適切な社会文化的背景の理解と道徳観を養い、自分とは異なる他者を理解し尊重する姿勢を培う。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化や多様性を学ぶ意義について、自ら説明することができる。 ・異なる文化的背景や社会的価値観を持つ人々についての基礎的な知識を理解し、多文化や多様性について、具体例を挙げて、自ら説明することができる。 ・多様な価値観が共存する社会において、道徳的・倫理的観点から適切な判断を下し、日常生活においてその姿勢を実践できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	地域社会への貢献、国際的な視野	
関連科目	英語リーディング 医療英語リーディング 英語会話 医療英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング 国際コミュニケーション英語 中国語 コリア語 ドイツ語 ポルトガル語	
成績評価方法・基準	期末レポート70% 毎回のコメントペーパー30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は、90時間の学習が必要な内容で構成されている。授業は30時間（15コマ）となるため、60時間分相当の準備学習（予習と復習）が必要となる。 予習：講義資料を読んで、疑問点や自分の意見をまとめておく。 復習：講義で得た知識を基に興味を広げ、文献やニュースを活用してさらに理解を深める。	
教科書	指定なし：講義資料を配付する	
参考書	指定なし：講義内で適宜紹介する	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	私語厳禁（グループディスカッションなど、教員から指示がある場合を除く）。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、コメントペーパーを用いて教員も確認する。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッションを行う。 授業後のコメントシートで「今日の学び・疑問・次の課題」等を記入。	
ナンバリング	NBc-103	

講義科目名称： 経済学

授業コード： 5N015

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。</p> <p>第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。</p> <p>第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。</p> <p>第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。</p> <p>第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。</p> <p>第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。</p> <p>第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。</p> <p>第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。</p> <p>第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。</p> <p>第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。</p> <p>第11回 国内総生産（GDP）（2） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。</p> <p>第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。</p> <p>第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。</p> <p>第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。</p> <p>第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。</p>	<p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p> <p>飯島 正義</p>
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、定期試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して1コマあたり4時間程度を復習・予習にあてて下さい。	
教科書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。	
参考書	必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	

国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。定期試験時には印刷された授業資料のみを持ち込み可とします。なお、資料の添付期間は資料を添付してから1か月間です。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	NBc-104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆	一柳 大輔	岩城 翔平	

授業形態	講義8回と授業内レポート、地域ボランティア活動実習6回と体験レポート1回。		担当者
授業計画	第1回	<p>ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史について説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。</p> <p>成績評価方法・基準について説明する。 また「体験レポート」についてのフィードバックは、授業において匿名化したうえで紹介する。個別のフィードバックは行わない。</p>	一柳 大輔
	第2回	<p>ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。</p>	一柳 大輔
	第3回	<p>寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。</p>	一柳 大輔
	第4回	<p>性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。</p>	一柳 大輔
	第5回	<p>生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について “複合的な課題”、“重層的な課題”等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。</p>	一柳 大輔
	第6回	<p>“ごみ屋敷”とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説明をする。</p>	一柳 大輔
	第7回	<p>災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考察する。</p>	一柳 大輔
	第8回	<p>ボランティア体験の実践紹介、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。</p>	一柳 大輔
	第9回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第10回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第11回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第12回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第13回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平
	第14回	<p>ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。</p>	衣川 隆、 岩城 翔平

	第15回 ボランティアの実践 ボランティア活動と活動日記を作成。	衣川 隆、 岩城 翔平
科目の目的	1. ボランティア活動の多様なあり方を理解する。 2. ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し自身のかかわり方を考察する。 3. 医療専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できるようになる。	
到達目標	1. ボランティア活動の基本概念はもとより、歴史や現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる。 2. 実践や体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる。 3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、医療専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	人間の尊厳と基本的人権、探求力と問題解決力、専門知識と基本的技術、多職種協働と地域社会活動の促進	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	授業内レポート(60%)・ボランティア体験レポート(40%) 【評価のポイント】 ・授業内レポート：学習内容の定着度合いがどの程度であったかを計測する。具体的には、授業回を取り上げ、内容の要約が適切か、重要キーワードの意味を理解できているか、考察がよく吟味され独自性のあるものか。 ・ボランティア体験レポート：主体性であるか(個人で完結するレポートは低い評価、様々なステークホルダーと関わる内容は高い評価をする傾向にある)、ボランティアによる学びの内容が詳細に記述されているか、考察が吟味され独自性のあるものか。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人として、または医療専門職として、どのようにボランティアと関わるかを自分なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自分の気になるトピックスを学習しておくこと。 準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間。	
教科書	使用しない	
参考書	なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習	
ナンバリング	OBc-103	

講義科目名称： 群馬の探求

授業コード： 5N017

英文科目名称： Exploring Gunma

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 『群馬の探求』 概論 『上毛かるた』 の創設と文化的意義</p> <p>第2回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ① 日本の近代化を支えた絹産業</p> <p>第3回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ② 豊かな自然と景勝地</p> <p>第4回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ③ 歴史と文化遺産</p> <p>第5回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ④ 群馬を形作った人物</p> <p>第6回 「上毛かるた」と読み解く群馬県の主要テーマ⑤ 県民の気質と暮らし</p> <p>第7回 群馬の保健・医療・福祉 群馬の医療と支える国・県・市町村</p> <p>第8回 『群馬の探求』 のまとめ 『上毛かるた』 と巡る群馬の現在・そして未来の創造</p>	<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	群馬パース大学のある群馬県は、豊かな自然に囲まれ、多くのアウトドア施設、観光資源、温泉、史跡、歴史的建造物など、様々な文化と歴史と共に歩んできた。また群馬県民は古くから「上毛かるた」と共に、その歴史や文化、人々の生活を知り、群馬の魅力と地域の特性、人との関わりを大切にしてきた。この科目では、群馬県の歴史、文化、経済、社会などを多角的に探求し、群馬の生活圏で生きる人々の県民性と保健医療を提供する医療体制について学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県の歴史・文化・経済・社会の概要について説明できる。 ・群馬県の人と地域の特色について説明できる。 ・群馬県の健康・医療・福祉の概要について説明できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	地域社会への貢献	
関連科目	コミュニケーション学入門、社会学、生活文化と医療、多文化理解、経済学、環境学、公衆衛生学、社会福祉・地域サービス論	
成績評価方法・基準	<p>演習課題 (50%) ・課題レポート (50%)</p> <p>*各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。</p> <p>*この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ (15時間) の講義科目のため、30時間分の準備学習時間 (1 コマあたり4 時間 (実時間数180分)) が必要であり、事前学習 (90分) ・事後学習 (90分) が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「上毛かるた」で見つける群馬のすがた：知れば、もっとぐんまが好きになる！ 群馬県 (2010/3/1) ・上毛かるたはカタル 渡邊 俊著 Booko出版 (2023/12/19) ・ガイドマップ「上毛かるた」ゆかりの地文化めぐり 群馬県 (2011/3/1) ・手島仁の「群馬学」講座-人物100話 手島仁著 上毛新聞社 (2015/2/6) ・大学的群馬ガイド こだわりの歩き方 高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科編 昭和堂 (2024/3/18) 	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業中に行う演習課題では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC (Windows またはOS X) タブレット等を持参してください。	
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。	
ナンバリング	NBc-106	

講義科目名称： 環境学

授業コード： 5N018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、生活を支える資源と持続可能社会、SDGs 第2回 環境問題の変遷 産業革命、公害問題から地球環境問題へ 第3回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、四大公害病、イタイイタイ病を事例として 第4回 有害物質による環境汚染の国際的な拡がり 水俣条約を事例として 第5回 水質汚濁 (I) 水質汚濁の原因、生活排水、酸素要求量 第6回 水質汚濁 (II) 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第7回 水質汚濁 (III) 宮崎駿の作品にみる水質汚濁と川の再生 第8回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物、3R 第9回 オゾン層破壊 地球環境問題の顕在化、フロンによるオゾン層破壊 第10回 紫外線対策 紫外線の人体への影響、オーストラリアの対策を事例として 第11回 気候変動 (I) 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第12回 気候変動 (II) 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第13回 気候変動 (III) 予防原則、先進国・途上国の責任、緩和、パリ協定 第14回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 化石燃料からの脱却、再生可能エネルギー 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解	
関連科目	公衆衛生学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習 (自筆ノートの整備) を行う。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書	使用しない (プリント配布)	
参考書	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	保健師国家試験受験資格取得のための要件科目	
アクティブ・ラー	教室内でのグループ・ディスカッション	

ニングの実施	
ナンバリング	NBd-101

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 5N019

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 ① 生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ② 生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③ 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質 生命活動に主要な役割を持つ構成成分 ・炭水化物(糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質(無機塩類)</p> <p>第3回～4回 生命の単位 ウイルス、原核細胞(細菌類を含む)、真核細胞 ② 真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第5回 細胞内小器官 核、小胞体、ゴルジ装置、ミトコンドリア、リソソーム ② DNAの変異と修復 ③ 遺伝情報発現のしくみ</p> <p>第6回 受精、発生、分化 (1) 無性生殖と有性生殖、減数分裂 ② 受精 ③ 初期発生と分化のしくみ ④ 形態形成とアポトーシス</p> <p>第7回 受精、発生、分化 (2) 受精、発生 ② サイトカイン</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ヒトの染色体と遺伝子 ② メンデルの法則と形質の遺伝 ③ 遺伝病の原因—遺伝子変異</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ① 生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ② 細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③ 細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④ 体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤ 生殖、発生、分化のしくみ、形態形成について理解する。 ⑥ ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト形質の遺伝について説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績(90%)及び講義終了時に提出するリアクションペーパー(10%)により評価する。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社）
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D.サダヴァ他著 ブルー--ボックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	NBd-102

講義科目名称： 生物学

授業コード： 5N020

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 遺伝子の転写・翻訳 ①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティクス</p> <p>第3回・4回 遺伝子の複製、エネルギー代謝 ①遺伝子の複製 ②染色体の分配 ③染色体異常 ④遺伝病 ⑤細胞周期</p> <p>第5回・6回 がんとかん遺伝子 ①がんの原因 ②がん遺伝子とかん抑制遺伝子</p> <p>第7回・8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチン-プロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞分裂の限界と老化</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する生物学分野の研究進捗状況について理解する。</p>	
到達目標	<p>基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。</p> <p>①真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、発現調節、DNAの変異などについて知識を深める。</p> <p>②ヒトにおける染色体異常、および遺伝病について学び、説明できる。</p> <p>③がんの原因、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について学ぶ。</p> <p>④細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (90%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (10%) により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典 (岩波書店、東京化学同人社など) で調べ、理解しておくこと。	
教科書	「人の生命科学」 佐々木 史江、堀口 毅、岸 邦和、西川 純雄 (医歯薬出版株式会社)	
参考書	<p>1. 「Essential細胞生物学原書第4版」 中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂)</p> <p>2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス (講談社)</p> <p>3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。	
ナンバリング	NBd-103	

講義科目名称：基礎数学

授業コード：5N021

英文科目名称：Basic Mathematics

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 数と式 展開・因数分解を復習する。</p> <p>第2回 方程式と不等式 1次不等式, 2次方程式の復習をする。</p> <p>第3回 2次関数 2次関数とそのグラフ, 2次関数の最大・最小, 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。</p> <p>第4回 図形と計量 三角比, 正弦定理と余弦定理, 図形の計量を復習する。</p> <p>第5回 個数の処理 順列, 組合せを復習する。</p> <p>第6回 確率 事象と確率, 確率の性質, 反復試行の確率, 条件つき確率を復習する。</p> <p>第7回 論理と命題 集合とその要素の個数, 命題と条件, 逆, 裏, 対偶を復習する。</p> <p>第8回 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均, 分散, 相関係数など)を復習する。</p>	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、データの分析について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎統計学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	筆記試験 (90%) + 小テスト (10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書：特になし 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学IAの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NBd-104	

講義科目名称： 数学

授業コード： 5N022

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 三角関数 一般角と弧度法, 三角関数の加法定理, 三角関数の合成, 和と積の変換</p> <p>第2回 複素数 複素数の導入と計算方法, 複素共役, 剰余の定理, 因数定理</p> <p>第3回 指数関数と対数関数 指数法則, 実数のべき, 対数の導入, 対数法則, 底の変換公式</p> <p>第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入, 基本的な性質</p> <p>第5回 微分1 微分の定義, 整式の微分, 極大値・極小値</p> <p>第6回 微分2 積・商の微分, 合成関数の微分, 三角関数・指数関数・対数関数の微分</p> <p>第7回 積分1 積分の定義, 整式の積分, 図形の面積</p> <p>第8回 積分2 置換積分, 部分積分, 三角関数・指数関数・対数関数の積分, 微分方程式</p>	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分(数ⅡⅢ)、微分方程式などについて学ぶ。	
到達目標	1. 医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 2. 数理現象を理解したり、評価したり、扱ったりする数学的なセンスを養う。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎数学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	レポート試験(90%) + 小テスト(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義プリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学ⅡⅢの教科書	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	講義「基礎数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NBd-105	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 5N023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。</p> <p>第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。</p> <p>第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。</p> <p>第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。</p> <p>第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異的な形、一般的な性質について解説する。</p> <p>第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。</p> <p>第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。</p> <p>第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。</p>	<p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p>
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程で学修する内容を体系的に理解するための基礎的知識を身につけることを目的とする。	
到達目標	専門課程で学習する内容を体系的に理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（75%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（25%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確認するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特に指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	NBd-106	

講義科目名称： 化学

授業コード： 5N024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。</p> <p>第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。</p> <p>第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。</p> <p>第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。</p> <p>第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。</p> <p>第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。</p> <p>第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する。</p> <p>第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象の原理について解説する。</p>	<p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p> <p>日置 英彰</p>
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験 (75%)、毎講義ごとのリアクションペーパー (Active Academyのアンケート機能を利用) の提出 (25%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確保するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー (Active Academyのアンケート機能を利用) を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	NBd-107	

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 5N025

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
神谷 富裕			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。</p> <p>第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力。</p> <p>第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。</p> <p>第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。</p> <p>第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。</p> <p>第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。</p> <p>第7回 円運動 等速円運動。</p> <p>第8回 バネと単振動 単振動。</p>	<p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p> <p>神谷 富裕</p>
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験 (90%) , 講義内レポート (10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分~1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書	指定しない	
参考書	物理学基礎 第5版 原康夫著 学術図書出版	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	
ナンバリング	NBd-108	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 5N026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 力のつり合いと運動の法則 力のモーメント、剛体の回転運動とつり合いについて学ぶ。</p> <p>第2回 力学的エネルギーと運動量 力学的エネルギー・運動量とその保存、衝突する物体の運動について学ぶ。</p> <p>第3回 円運動と単振動 円運動する物体にはたらく力について学ぶ。</p> <p>第4回 熱力学 温度による状態変化と気体分子の運動について学ぶ。</p> <p>第5回 波の運動 波の性質や音のドップラー効果について学ぶ。</p> <p>第6回 電磁気 (電気と力) 電界と電位、コンデンサのはたらきについて学ぶ。</p> <p>第7回 電磁気 (電流と磁界) 電流と磁界の関係、電磁誘導について学ぶ。</p> <p>第8回 原子の構造と放射線 原子核の崩壊と放射線の種類と性質について学ぶ。</p>	丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって必要な物理学を学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学全体の基礎的な理解を深めることを目的とする。この科目の学習を通して、科学的・論理的な考え方を養い、物理現象を定性的・定量的に取り扱えるようにする。	
到達目標	物理学の考え方が身につく、重要な概念を理解している。 物理学に関する問題を解決でき、物理現象を定量的・定性的に取り扱うことができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	講義での演習 (50%)、定期試験 (50% : 手書きのノートの持ち込み可)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習 (60分) ・事後学習 (60分) を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	まるわかり! 基礎物理 改訂3版、鷹野誠 監修、南山堂、2025	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	基礎物理学と併せて履修することをお勧めします。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修、リアルタイムアンケートとフィードバック	
ナンバリング	NBd-109	

講義科目名称： 基礎栄養学

授業コード： 5N027

英文科目名称： Basic Nutritional Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
本田 佳子			

授業形態	講義8回（第2回は演習時間を設ける）		担当者
授業計画	第1回	栄養の概念、食物の摂取 栄養とは、空腹感と食欲、食事のリズムとタイミング	本田 佳子
	第2回	食物から食糧、栄養素成分から栄養 食糧の含有する栄養素成分、食事摂取基準と食物摂取	本田 佳子
	第3回	消化と吸収の概要とたんぱく質・糖質・脂質の消化吸収 3つの消化、吸収とは、管腔内消化と膜消化、消化管ホルモン、たんぱく質・糖質・脂質の消化吸収（消化酵素とその活性化、はたらき）の過程	本田 佳子
	第4回	糖質の栄養－食後及び空腹時の糖質代謝－ 血糖値とは、糖質の体内分布、食後及び空腹時の糖質代謝、他の栄養素との関係	本田 佳子
	第5回	脂質の栄養－脂質の体内動態－ 脂質の種類及び生理作用、脂質の臓器間輸送	本田 佳子
	第6回	たんぱく質の栄養－体内代謝－ たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸、他の栄養素との関係 たんぱく質の代謝回転、アミノ酸プール、窒素出納、たんぱく質の栄養価、制限アミノ酸	本田 佳子
	第7回	ビタミン・ミネラル（無機質）の栄養、水・電解質の栄養的意義、エネルギー代謝 脂溶性/水溶性ビタミンの構造、代謝と栄養学的機能、生物学的利用度、補酵素としての機能、生物学的利用度、ミネラルの分類と栄養学的機能・生体機能、水の体内分布、水分出納、電解質の代謝、エネルギーとは	本田 佳子
	第8回	試験および解説 試験問題の解説をシフィードバックを実施する	本田 佳子
科目の目的	栄養の基本的概念及びその意義から生命の維持活動について学び、ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の消化・吸収・代謝の一連の過程を理解する。この授業は、原則として健康な成人を対象とした栄養学を学ぶが、このことは、将来的に臨床栄養学、医療栄養学、各専門とするケア・キューアを理解する上で必要となる。		
到達目標	1)食物の摂取と栄養素の消化吸収の過程について説明できる。 2)ヒトが生きるうえで必要となる栄養素の生体内における役割について説明できる。 3)健康の保持・増進のために、摂取すべき栄養素の質と量について説明できる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度		
関連科目	生化学、生理学、公衆衛生学、臨床栄養学、リハビリテーション医学、基礎運動療法学		
成績評価方法・基準	演習での成果物40%、筆記試験60%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	化学、生理学で学んだ代謝に関連した項目およびキーワードを復習 1単位あたり4時間の予習・復習をする		
教科書	教科書「八訂食品成分表2026」（女子栄養大学出版社）		
参考書	本田佳子・曾根博仁編：栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学 基礎編 羊土社、本田佳子編：Visual栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ 総論 中山書店、本田佳子編：新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント 医歯薬出版		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配布する 配布時期：前回授業翌日から当該日まで・持参方法：各自印刷あるいはPCにダウンロードして授業に持参すること		
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、ディスカッションの実施		
ナンバリング	NBd-110		

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 5N028

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
富田 浩			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび度数分布表とヒストグラムのつくり方 授業方法・学生評価方法等の説明, 度数分布表およびヒストグラムについて学ぶ 第2回 データの中心をはかる指標 各指標の求め方, 長所・短所などについて学ぶ 第3回 データの散らばりをはかる指標 各指標の求め方, 長所・短所などについて学ぶ 第4回 順列と組み合わせ 順列および組合せの考え方, 算出方法について学ぶ 第5回 確率 確率の求め方と確率の基本定理について学ぶ 第6回 確率変数と確率分布 主に, 二項分布, 正規分布について学ぶ 第7回 母平均の区間推定 標本の情報から母集団の平均を推定する方法について学ぶ 第8回 母比率の区間推定 標本の情報から母集団の比率を推定する方法について学ぶ	富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩 富田 浩
科目の目的	データを見る, 処理する時に必要となる統計的な見方・考え方を学び, 将来, 仕事などで統計を用いる際の土台をつくる.	
到達目標	基本統計量のもつ意味が説明できる 主な確率分布の概要について説明できる 母平均・母比率の区間推定ができる	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎数学, AI・データサイエンス・リテラシー	
成績評価方法・基準	筆記試験 (100%) 試験結果発表後, 答案 (採点結果) を閲覧可能とする.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習: 教科書 (各回授業該当部分) を確認する (60分程度) 復習: 授業内容と教科書の再確認, 練習問題を解く (120分程度)	
教科書	「初歩からの統計学 第2版」白砂堤津耶 (日本評論社)	
参考書	「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦 (共立出版)	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	例題・練習問題の実施	
ナンバリング	NBd-111	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 5N029

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、英語で自己紹介をする (Lesson 1のExpress Yourself)	徳永 慎也
	第2回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第3回 Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第4回 Lesson 1 Communication extensive readingの説明。 コミュニケーションの持つ力についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第5回 Lesson 3 Health and Environment SDGsの目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第6回 Lesson 3 Health and Environment SDGsの目標6「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第7回 Lesson 4 Gender Equality SDGsの目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第8回 Lesson 4 Gender Equality SDGsの目標5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題①：SDGsの17の目標の中から1つ選び、①状況、②問題、③解決、④結果・コメントの構造に沿って、自分の意見を英語で書く。(Lesson 4のExpress Yourselfを参照)	徳永 慎也
	第9回 Lesson 5 Fashion*課題提出あり 日本の着物の歴史についての英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第10回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try 課題のフィードバック	徳永 慎也
	第11回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Conversation、Reading	徳永 慎也
	第12回 Lesson 7 The HHistory of YouTube YouTubeの歴史に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也

	第13回	Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Conversation、Reading 課題②：「～したほうが良い」と思われる理由について、パラグラフの構造 (Introduction、Body、Conclusion) に注意して、英語で論じる。(Lesson 14の Express Yourselfを参照)	徳永 慎也
	第14回	Lesson 11 Volunteer Work*課題提出あり ボランティア活動の意義に関する英文読解。 Comprehension、Answer the Questions、Discussion Topic、Retelling、Grammar for CommunicationのLet's Try	徳永 慎也
	第15回	第2回から第14回講義の復習(重要事項の確認) 第2回から第14回目(Unit 1、Unit 3、Unit 4、Unit 5、Unit 7、Unit 11)の講義 を振り返り、重要事項の確認を行う。 課題のフィードバック	徳永 慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための総合的な英語基礎力、リーディング力、リスニング力、スピーキング力、ライティング力を身につける。特にリーディング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現することができるようにする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野		
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	定期試験(60%) 課題(30%) extensive reading(10%) *定期試験は100点満点で実施するが、60点満点に換算。課題は2回実施して各15点満点で採点して合計で30点とする。extensive readingは10,000語を達成して10点。extensive readingは登録作業が必要なため、5月の連休明けから開始し、授業期間最終日まで読んで読んだ語数をカウントする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。練習問題等はあらかじめやっておく。</p> <p>復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。</p> <p>予習復習合わせて1時間。</p> <p>extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。</p>		
教科書	教科書：『グローバル社会へのコミュニケーション英語——Journeys: Communication for the Global Age』 阿野幸一他(朝日出版社)		
参考書	指定なし		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	<p>高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語や表現は必ず辞書を引いて調べること。</p> <p>座席は出席番号順に固定(初回授業で指定)。出席はパスワードを用いて登録してもらいますが、その場で教員も確認します。</p>		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、ペアワーク		
ナンバリング	NBe-101		

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 5N030

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
アンドリュース 美穂			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction—Pretest Test Your Reading Skill: Team Medicine 授業の説明、各自のreading abilityのチェック、単語力のチェック。	アンドリュース 美穂
	第2回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。がんと共に生きるための5つのステージとは何か。 医療英単語① (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第3回 Unit 2 Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。 医療英単語テスト① (人体の部位) 医療英単語② (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。医療と宗教の関わり方と解決策を考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト② (人体の部位) 医療英単語③ (人体の部位) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第5回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト③ (人体の部位) 医療英単語④ (骨格各部位) の説明 (次回、テストを行う) 課題①：医療現場における宗教的配慮について調べ、英語でまとめる。	アンドリュース 美穂
	第6回 Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。医療従事者自身の身体的、精神的ケアを考える。単語テスト返却。 医療英単語テスト④ (骨格各部位) 医療英単語⑤ (骨格各部位) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第7回 Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑤ (骨格各部位) 医療英単語⑥ (主な人体の器官) の説明 (次回、テストを行う) 課題のフィードバック	アンドリュース 美穂
	第8回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。upstream thinkingとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑥ (主な人体の器官) 医療英単語⑦ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑦ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑧ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂
	第10回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。非言語コミュニケーションとは何かを理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑧ (接頭辞と接尾辞) 医療英単語⑨ (接頭辞と接尾辞) の説明 (次回、テストを行う)	アンドリュース 美穂

	<p>第11回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension、課題の説明。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑨（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑩（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う） 課題②：日本以外の国の非言語コミュニケーションについて調べ、英語でまとめる。</p> <p>第12回 Unit 9 Actions Speak Louder than Words、Unit 4 Before Calling It Malpractice*課題提出あり 課題をグループ内で発表する。 Unit 9: Practice Conversation Unit 4: topicの英文読解、内容の把握。医療ミスについて理解する。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑩（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑪（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）</p> <p>第13回 Reading Skillのチェックと第1回から第12回講義の復習 第1回から第12回講義の復習。 医療英単語テスト⑪（接頭辞と接尾辞） 医療英単語⑫（接頭辞と接尾辞）の説明（次回、テストを行う）</p> <p>第14回 Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 医療英単語テスト⑫（接頭辞と接尾辞） 課題のフィードバック</p> <p>第15回 Unit 4 Before Calling It Malpractice、Reading Skillのチェックと第1回から第14回講義の復習 topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation。単語テスト返却。 各自のreading skillの再チェック。単語テスト返却。 第1回から第14回講義の復習</p>	<p>アンドリュース美穂</p> <p>アンドリュース美穂</p> <p>アンドリュース美穂</p> <p>アンドリュース美穂</p> <p>アンドリュース美穂</p>
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声を聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで正しく書くことができる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験(70%) 課題(20%) 医療英単語テスト(10%) *定期試験は70点満点で実施する。課題は2回実施して各10点満点で採点して合計で20点とする。医療英単語テストは、第3回～第14回に毎回10点のテストを行い、平均して10点とする（不正行為厳禁）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。	
教科書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子（成美堂）	
参考書	指定なし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。わからない単語、表現などは必ず自分で辞書を引いて調べること。 授業中のスマホや携帯電話の使用厳禁。（かばん等にしまっておくこと。）	
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク	
ナンバリング	NBe-102	

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 5N031

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 英語圏の文化や風習を理解する。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	授業中の課題 (5%)、小テスト (30%)、第1回目のプレゼンテーション (15%)、第2回目のプレゼンテーション (20%)、第3回目のプレゼンテーション (30%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	

教科書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中のスマホ使用は原則禁止。予習は必ずすること。積極的に参加すること。定期試験無し。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	NBe-103

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 5N032

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBe-201	

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 5N033

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBe-301	

講義科目名称： 国際コミュニケーション英語

授業コード： 5N034

英文科目名称： English for International Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBe-401	

講義科目名称： 中国語

授業コード： 5N035

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
桑名 潔江			

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	桑名 潔江
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	桑名 潔江
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	桑名 潔江
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	桑名 潔江
	第5回 第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	桑名 潔江
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	桑名 潔江
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	桑名 潔江
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	桑名 潔江
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1コマあたり60分程度必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。
教科書	教科書：キャンパスで始める中国語（白帝社）
参考書	参考書：なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NBf-101

講義科目名称： コリア語

授業コード： 5N036

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音 (濃音と比較しながら) 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音 (激音と比較しながら) 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化～「サム料理」を紹介する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 初対面でのハングル会話を行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる (いない)」「ある (ない)」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 二人一組で会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	

ド	
関連科目	特になし。
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、1コマ当たり1時間を目安に積極的に取り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	講義前後：非常勤講師室
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	NBf-102

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 5N037

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 貴康			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス・ドイツ語のアルファベットと発音	伊藤 貴康
	第2回 動詞の現在人称変化 1	伊藤 貴康
	第3回 動詞の現在人称変化 2・並列の接続詞	伊藤 貴康
	第4回 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化	伊藤 貴康
	第5回 名詞の複数形・人称代名詞	伊藤 貴康
	第6回 不定冠詞類・定冠詞類	伊藤 貴康
	第7回 動詞の現在人称変化 3・命令形	伊藤 貴康
	第8回 話法の助動詞・未来形	伊藤 貴康
	第9回 前置詞・再帰代名詞・再帰動詞	伊藤 貴康
	第10回 分離動詞・非分離動詞・zu不定詞・従属の接続詞	伊藤 貴康
	第11回 動詞の 3 基本形 1・過去形・現在完了形	伊藤 貴康
	第12回 3 基本形 2・受動態	伊藤 貴康
	第13回 形容詞の変化・比較・関係代名詞	伊藤 貴康
	第14回 文法のまとめ・簡単なドイツ語のリーディング・リスニング	伊藤 貴康
	第15回 簡単なドイツ語のリーディング・リスニング	伊藤 貴康
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を学習するとともに、簡単な挨拶などの表現やドイツ語圏の文化を学ぶ。	
到達目標	自力で辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようになるとともに、ドイツ語を母語とする人と簡単な日常会話によるコミュニケーションができるようにする。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目	健康スポーツ実技 文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 メディア・リテラシー	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回学習する文法事項が次回以降の基礎となるため、1コマ当たり1時間程度の準備学習を要する。	
教科書	Genau! Gramatik neu (郁文堂、ISBN978-4-261-01276-7)	
参考書	1種類に指定しないが、アクセス独和辞典(三修社)、クラウン独和辞典(三省堂)など何らかの独和辞典を用意することが望ましい。	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

ナンバリング

NBf-103

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：5N038

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、国際的な視野	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	NBf-104	

講義科目名称：メディア・リテラシー

授業コード：5N039

英文科目名称：Media Literacy

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
米持 圭太			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	米持 圭太
	第2回 コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	米持 圭太
	第3回 情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	米持 圭太
	第4回 インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	米持 圭太
	第5回 情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	米持 圭太
	第6回 レポートの作成と編集 レポートとは 主題を決める 構造化を考える 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	米持 圭太
	第7回 レポートの作成演習 レポート作成の演習 ワープロによる文章作成	米持 圭太
	第8回 情報のデータ化と分析・マイニング 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	米持 圭太
	第9回 情報のデータ化と分析・マイニング演習 情報のデータ化と分析の演習 スプレッドシートによる分析	米持 圭太
	第10回 モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	米持 圭太

	第11回	モデリングとシミュレーション演習 モデリングとシミュレーションの演習 スプレッドシートによる予測	米持 圭太
	第12回	プレゼンテーションの方法 シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの実際 技術の進歩とプレゼンテーションの変化	米持 圭太
	第13回	プレゼンテーション演習 プレゼンテーションの演習 プレゼンテーションの作成	米持 圭太
	第14回	セキュリティと法令順守 情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令 デジタルコミュニケーション	米持 圭太
	第15回	ICT活用の問題解決 問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信 問題解決におけるシミュレーションの利用	米持 圭太
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。		
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度		
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門		
成績評価方法・基準	演習課題（50%） ミニテスト（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業（90分）、事前自己学習（60分）、関連項目の事後学習（60分）		
教科書	標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022		
参考書	入門情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 収 著 オーム社 2022		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。		
ナンバリング	NBg-101		

講義科目名称： AI・データサイエンス・リテラシー

授業コード： 5N040

英文科目名称： AI and Data Science Literacy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	演習 (15回)	担当者
授業計画	第1回 社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは/社会における変化/本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ	星野 修平
	第2回 社会で活用されているデータ	星野 修平
	第3回 データ・AIの活用領域	星野 修平
	第4回 データ・AI利活用のための技術	星野 修平
	第5回 データ・AI利活用の現場	星野 修平
	第6回 データ・AI利活用の最新動向	星野 修平
	第7回 時系列データの可視化	星野 修平
	第8回 平均、標準偏差の算出とその可視化	星野 修平
	第9回 大量のデータを扱う方法	星野 修平
	第10回 基本統計量の算出と箱ひげ図	星野 修平
	第11回 度数分布表とヒストグラムの作成	星野 修平
	第12回 散布図の作成と相関係数の算出	星野 修平
	第13回 定性データの扱い方とクロス集計	星野 修平
	第14回 データ・AIを扱う上での留意事項	星野 修平
	第15回 データを守る上での留意事項	星野 修平
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビックデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	基礎統計学, AI・ロボットと社会, AI・プログラミング入門, 保健統計	
成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題 (100%) *各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次の授業でまとめて行います。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習 (90分) で理解し、授業を通して学んだことの事後学習 (45分)	
教科書	改訂新版 AIデータサイエンスリテラシー入門 吉岡剛志, 森倉悠介, 小林領, 照屋健作 共著 2024. 技術評論社	
参考書	・データサイエンスの考え方 小澤 誠一・斎藤 政彦 共著、オーム社 ・改訂新版 初めてのAIリテラシー 岡嶋裕史 技術評論社	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	MS-Excelをインストールしたパソコン（Windows, PCMac等）を持参してください。 保健師国家試験受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない
ナンバリング	NBg-102

講義科目名称： AI・ロボットと社会

授業コード： 5N041

英文科目名称： AI, Robots, and Society

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習（15回）	担当者
授業計画	<p>第1回 「AI・ロボットと社会」について 講義の目的を理解し、AI・ロボットが社会や医療に与える影響を考える</p> <p>第2回 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の歴史と概要 AIの基本概念と歴史について学ぶ</p> <p>第3回 ロボットと社会 ロボットの定義と社会との関わりを理解する</p> <p>第4回 AIとロボットの歴史 ロボット研究とAIの関わりについて理解する</p> <p>第5回 AIの仕組み AIの仕組み、機械学習やニューラルネットワークの構造について学ぶ</p> <p>第6回 対話型ロボットとロボット社会 対話型ロボットと社会での役割を理解する</p> <p>第7回 アンドロイドとヒューマノイド アンドロイドやヒューマノイドの研究を通して人間について知る</p> <p>第8回 AI・ロボットの自律性 AI・ロボットと自律性について考える</p> <p>第9回 AI・ロボットの心・対話 AI・ロボットの心について考える</p> <p>第10回 AI・ロボットの身体 AI・ロボットの身体について考える</p> <p>第11回 人間と共生するAI・ロボット 人間と共生するAI・ロボットが構成する社会を考える</p> <p>第12回 AI・ロボットの意思決定アルゴリズム AI・ロボットの意思決定アルゴリズムについて知る</p> <p>第13回 アルゴリズムミック・バイアス 人間の認知バイアスとAIのアルゴリズムミック・バイアスについて知る</p> <p>第14回 医療・福祉・介護におけるAI・ロボットの活用 AI・ロボットの応用を社会適応を考える</p> <p>第15回 「AI・ロボットと社会」の未来 AI・ロボットが創造する近未来を考える</p>	<p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p> <p>星野 修平</p>
科目の目的	人工知能(Artificial Intelligence: AI)は、現在自動運転技術やAIロボット、AIスピーカーなどで社会実装され、様々な分野で急速に発展・普及している。今後の日本における社会問題である人口減少、少子高齢化、人材不足などに対応するため、AIやAIロボットの需要はさらに高まると予想され、新たな産業構造変化でもAIの活用が期待される。この講義では、生活の中に組み込まれるAIに関する基本的知識を学び、AIロボットなどで利用されるAI技術と活用事例を通して、その意義について理解する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能(Artificial Intelligence: AI)の基本的事項について説明できる。 AIロボットなどの社会実装に意義について説明できる。 AIと人間を対比させて、心と身体について理解する。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門、メディア・リテラシー、AI・データサイエンス・リテラシー、AI・プログラミング入門、多職種理解と医療コミュニケーション	
成績評価方法・基準	<p>授業内で実施する演習課題（50%）・課題レポート（50%）</p> <p>*各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次の授業でまとめて行います。</p> <p>*この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ（30時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり2時間（実時間数90分））が必要であり、事前学習（30分）・事後学習（30分）が目安となる。	
教科書	使用しない	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ロボットと人間 人とは何か 石黒 浩 岩波新書 AIシステムと人・社会との関係 山口高平・中谷多哉子 放送大学教材 データ分析に必須の知識・考え方 認知バイアス入門 山田典一 ソシム 	

オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に実施する演習課題では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows または OS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	NBg-103

講義科目名称： AI・プログラミング入門

授業コード： 5N042

英文科目名称： Introduction to AI and Programming

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NBg-201	

講義科目名称： スタディ・スキルズ

授業コード： 5N043

英文科目名称： Study Skills

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	徳永 慎也	衣川 隆
	岩城 翔平	伊藤 栞	

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 スタディ・スキル① ・大学生になるということ ・大学で学ぶ意義と授業の受け方 ・スタディスキルとは？	峯村 優一
	第2回 スタディ・スキル② ・履修計画を立てる ・ノートを取る ・講義に参加する	星野 修平
	第3回 ライフスキル① ・学生生活の過ごし方 ・学生生活で求められる道徳や倫理・マナー	峯村 優一
	第4回 コミュニケーションスキル① ・対人コミュニケーション ・オンラインコミュニケーション ・SNSの活用と課題	伊藤 栞
	第5回 ライフスキル② ・キャリアデザイン キャリアサポートセンター GS：茂木洋子	岩城 翔平
	第6回 ライフスキル③ 特別講義：樋口 建介 群馬パース大学理事長 ・私の教育の原点 ・美しく・健やかに・元気で・昇天する ・パースの夢	衣川 隆
	第7回 コミュニケーションスキル② ・言語コミュニケーション ・異文化コミュニケーション	徳永 慎一
	第8回 スタディ・スキル③ ・大学生に求められる教養とは ・生涯にわたって学び続けること	星野 修平
*	授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。	
**	授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。	
***	レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。	
科目の目的	社会人に出てから必要とされる教養は、幅広いジャンル、様々専門分野の多くの知識に触れることで多様な価値観や考え方を身につけ、学ぶ力（スタディ・スキル）を身につけることが重視される。大学4年間で社会が求める教養力を身につけるには「専門の知」から自身の成長とともに「深い問い」を自問し、自ら容易に答えの得られない「問い」を追い続けるための持続的な教養スキルが求められる。この授業では、大学生に求められる「スタディ・スキル」を獲得することを目的とする。 スタディ・スキルを①ライフ・スキル、②コミュニケーション・スキル、③スタディ・スキルの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ルーブリックを活用した主体的な学びを目指す。	
到達目標	1. 社会の中で生きる意義について自ら考えることができる 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。 3. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。	
「ディプロマ・ポ	専門性の探求	

リシー」キーワード	
関連科目	全ての授業科目
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題への取り組み 30% ・フィードバックシート、ワークシートなど学修内容の理解・修得度 40% ・レポート・学修目標の達成度 30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ（15時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり4時間（実時間数180分））が必要であり、事前学習（90分）・事後学習（90分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のための社会人入門 柴岡新一郎 監著 技術評論社 ・スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 吉原恵子 他 実教出版 ・大学生のためのキャリアガイドブック Ver.2 寿山 泰二 他 北大路出版
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	NBh-101

講義科目名称： アカデミック・スキルズ

授業コード： 5N044

英文科目名称： Academic Skills

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	徳永 慎也	

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 リサーチ・リテラシー① ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集 ・図書館を活用する (図書館 佐藤 駿介/細矢 芽)	星野 修平
	第2回 リサーチ・リテラシー② ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える 特別講義：藤田 清貴 群馬パース大学学長	峯村 優一
	第3回 リサーチ・リテラシー③ ・データの見方、データの集計 ・論理的な表現 ・論証と検定	星野修平
	第4回 リサーチ・リテラシー④ ・学習に関する倫理 ・研究に関する倫理	峯村 優一
	第5回 アカデミック・リーディング① ・文書を読み、正確に理解する ・学術文書を読む際の心構えと注意点	峯村 優一
	第6回 アカデミック・リーディング② ・英語論文の読み方 ・レポート・論文に相応しい文章構造を考える	峯村 優一
	第7回 アカデミック・ライティング① ・レポートの書き方 ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	徳永 慎也
	第8回 アカデミック・ライティング② ・論文作法 ・講義レポートの形式 ・授業課題の提出	徳永 慎也
	*授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。 **授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。 ***レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。	
科目の目的	医療専門職になるためには、大学教育によって専門的な知識・技術を獲得する能力とその対象とされる人間を深く理解し、尊厳を尊重し、生きることへの深い執着と感動に共感できる人間力が重要である。高度な医療専門職になるために必要な生涯にわたって学び続けるための力（アカデミック・スキル）を身につけることを目的とする。 アカデミック・スキルを①アカデミック・リーディング、②アカデミック・ライティング、③リサーチ・リテラシーの3つのパートとして捉え、関係するトピックを交え、オムニバス形式で授業展開を行う。 また、学修活動には「自己学習力シート」を利用し、ルーブリックを活用した主体的な学びを目指す。	
到達目標	1. 大学での学ぶ意義と学習に必要な学習習慣・学習技術を理解し、授業やレポート作成で実践できる。 2. 学術の知と探求に意義を見出し、自ら学ぶ姿勢を持ち、多角的な視点での理解を深める。 3. 医療専門職の基盤となる学術に興味を持ち、クリティカル・リーディングの手法を身につける。	

「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求
関連科目	全ての授業科目
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題への取り組み 30% ・フィードバックシート、ワークシートなど学修内容の理解・修得度 40% ・レポート・学修目標の達成度 30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は7.5コマ（15時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり4時間（実時間数180分））が必要であり、事前学習（90分）・事後学習（90分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 佐藤望 監著 慶應義塾大学出版会 ・ピア活動で身につけるアカデミック・スキル入門 伊藤奈賀子 有斐閣ブックス ・大学生のためのリサーチ・リテラシー入門 研究のための8つの力 山田剛史 ミネルヴァ書房
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	NBh-102

講義科目名称： 多職種理解と医療コミュニケーション

授業コード： 5N045

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Medical Communication

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一	星野 修平	伊藤 栞	矢島 正栄
	佐藤 満	松下 誠	本田 佳子
授業形態	講義（13回）と演習（3回）		
担当者			
授業計画	<p>第1回 多職種で構成される専門職の理解 峯村 優一</p> <p>第2回 多職種連携とチーム・アプローチの基本構造 星野修平</p> <p>第3回 多職種連携を支える医療情報連携 星野 修平</p> <p>第4回 多職種連携・チーム医療を支える医療倫理 峯村 優一</p> <p>第5回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職① 医学と医師 星野修平</p> <p>第6回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職② 看護学と関連する専門職 矢島 正栄</p> <p>第7回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職③ リハビリテーション学と関連する専門職 佐藤 満</p> <p>第8回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職④ 医療技術学（臨床検査学・診療放射線学・臨床工学）と関連する専門職 松下 誠</p> <p>第9回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑤ 薬学と関連する専門職 星野修平</p> <p>第10回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑥ 栄養学と関連する専門職 本田 佳子</p> <p>第11回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑦ 教育学・社会福祉学と関連する専門職 星野修平</p> <p>第12回 多職種連携・チーム医療を構成する専門職⑧ 心理学と関連する専門職 伊藤 栞</p> <p>第13回 医療面接と医療コミュニケーション（演習） 伊藤 栞</p> <p>第14回 患者と患者家族、医療専門職の心理（演習） 伊藤 栞</p> <p>第15回 多職種連携とチーム医療の未来（演習） 峯村 優一</p> <p>*授業ごとの課題提出について 各回の授業では、授業の最後に提出課題があります。提出された課題についてのコメント等は、次回の授業でまとめて行います。</p> <p>**授業ごとのフィードバック・シートの提出について 各回の授業では、授業後のフィードバック・シートの提出を求めます。</p> <p>***レポート課題について この授業のレポート課題については、講義の中で解説します。また、提出されたレポート課題については、成績判定後に、その概要を全体総括として公表します。</p>		
科目の目的	<p>人間を取りまく保健・医療・福祉・介護のアプローチは、国家資格を基本とする高度医療専門職で構成する多職種連携チームで行われる。医療専門職は、職種を形成する法的根拠に基づき専門知識と技術を有し、その育成段階においては、広い他職種の相互理解から、より専門的なプロフェッショナルリズム教育を経て、専門的知識、技術を習得し、その成果として国家資格受験資格を獲得する。この科目では、多職種連携チームを構成する医療専門職の役割と特徴、プロフェッショナルリズム教育の目的と意義について学ぶ。また、コミュニケーションの基本である言語・非言語コミュニケーション、診療情報の伝達と共有による医療情報連携の基本や患者と医療専門職者間で行われる医療コミュニケーションの基本と技術を学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 多職種で構成される医療専門職について法的根拠と責任について説明できる。 多職種で構成される医療について、その特徴と機能について説明できる。 医療コミュニケーションの特徴について説明できる。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解、協調・協働		
関連科目	心理学入門、コミュニケーション学入門、各学科で開講される医療職連携科目		

成績評価方法・基準	授業内で実施する演習課題（50％）・課題レポート（50％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	本科目は15コマ（30時間）の演習科目のため、30時間分の準備学習時間（1コマあたり2時間（実時間数90分））が必要であり、事前学習（45分）・事後学習（45分）が目安となる。
教科書	使用しない
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション論・多職種連携論 内山 靖・藤井浩美・立石雅子編 医歯薬出版2021 ・医療者のためのコミュニケーション入門 杉本なおみ 精神看護出版 ・医療コミュニケーション 実証研究への多目的アプローチ 医療コミュニケーション研究会 篠原出版新社
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	授業中に演習では、PCを使用しオンライン教材を利用するため、PC（Windows またはOS X）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目では、学生の主体的な学習方法であるアクティブ・ラーニングを活用したオンライン教材等を使用します。
ナンバリング	NBh-103

講義科目名称： 解剖学 I

授業コード： 5N046

英文科目名称： Anatomy I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	<p>第1回 序論 1 解剖学とは何か 器官とその系統 上皮組織 支持組織</p> <p>第2回 序論 2 筋組織 神経組織 人体の外形と方向用語</p> <p>第3回 骨格系 1 骨格とは何か 骨の形 骨の構造 骨の発生と成長 骨の連結・関節</p> <p>第4回 骨格系 2 頭部の骨 脳頭蓋 顔面頭蓋 鼻腔・副鼻腔</p> <p>第5回 骨格系 3 脊柱 胸郭 上肢帯の骨 上腕の骨</p> <p>第6回 骨格系 4 前腕の骨 手の骨 下肢帯の骨 骨盤 大腿の骨 下腿の骨 足の骨</p> <p>第7回 筋系 1 筋の構造と機能 頭頸部の筋</p> <p>第8回 筋系 2 胸腹部の筋 上肢帯の筋 上腕の筋 前腕の筋 手の筋</p> <p>第9回 筋系 3 下肢帯の筋 大腿の筋 下腿の筋 足の筋</p> <p>第10回 神経系 1 神経系の構成 中枢神経系 (脊髄 延髄 橋 小脳)</p> <p>第11回 神経系 2 中枢神経系 (中脳 間脳 大脳)</p> <p>第12回 神経系 3 脳の血管 脳室 脳脊髄膜 脳脊髄液</p> <p>第13回 神経系 4 末梢神経 (脳神経)</p> <p>第14回 神経系 5 末梢神経 (脊髄神経)</p> <p>第15回 神経系 6 自律神経 (交感神経 副交感神経) 伝導路 (反射路 求心性伝導路 遠心性伝導路)</p>	浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる運動器・神経系の肉眼解剖学的構造を習得する。	
到達目標	骨格・筋・神経系の基本的な構造を説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目	解剖学 II 生理学 I・II 臨床病態学 I・II・III 臨床解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1週間前に配布する講義資料に関して1コマ当たり 1時間の準備学修を要する。	
教科書	「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂 (南江堂)	
参考書	特に無し	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。講義ノートは授業までに印刷しておくこと。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

ナンバリング

NFi-101

講義科目名称： 解剖学Ⅱ

授業コード： 5N047

英文科目名称： Anatomy II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義15回		担当者
授業計画	<p>第1回 脈管系1 血管系総論 心臓 刺激伝導系 心臓の血管(冠状動脈)</p> <p>第2回 脈管系2 肺循環と体循環 動脈系 静脈系</p> <p>第3回 脈管系3 胎生時の循環系 リンパ系(リンパ節 リンパ本幹) 脾臓 胸腺</p> <p>第4回 脈管系4 消化器系1 血液 血球 造血器官 内臓学総論(粘膜 腺) 口腔(歯)</p> <p>第5回 消化器系2 口腔(口蓋 舌 唾液腺) 咽頭 食道</p> <p>第6回 消化器系3 胃 小腸(十二指腸 空腸 回腸)</p> <p>第7回 消化器系4 大腸(盲腸 結腸 直腸) 肝臓 胆嚢 膵臓</p> <p>第8回 呼吸器系1 鼻腔 副鼻腔 喉頭 気管 気管支</p> <p>第9回 呼吸器系2 泌尿器系 呼吸器(肺 胸膜) 泌尿器(腎臓 尿管 膀胱 尿道)</p> <p>第10回 生殖器系 男性生殖器(精巣 精巣上体 精管 精嚢 前立腺 陰茎 精液 精子) 女性生殖器(卵巣 卵管 子宮 膣 外陰部 胎盤) 腹膜</p> <p>第11回 内分泌系 内分泌器(下垂体 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎 膵島)</p> <p>第12回 感覚器系1 視覚器(眼球 眼球の付属器)</p> <p>第13回 感覚器系2 平衡聴覚器(外耳 中耳 内耳) 皮膚(表皮 真皮 皮下組織 角質器 皮膚の腺)</p> <p>第14回 人体の発生のあらし1 受精～胎生第3週</p> <p>第15回 人体の発生のあらし2 胎生第4週～出生</p>	浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎 浅見 知市郎	
科目の目的	看護職としての基本知識となる脈管・内臓・発生の肉眼解剖学的構造を習得する。		
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解		
関連科目	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 臨床解剖学		
成績評価方法・基準	定期試験100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1週間前に配布する講義資料に関して1コマ当たり1時間の準備学修を要する。		
教科書	「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂(南江堂)		
参考書	特に無し		
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照		
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照		

履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。講義ノートは授業までに印刷しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFi-102

講義科目名称： 臨床解剖学

授業コード： 5N048

英文科目名称： Clinical Anatomy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-401	

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 5N049

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官</p> <p>第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達</p> <p>第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮</p> <p>第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節</p> <p>第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム</p> <p>第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能</p>	<p>洞口 貴弘</p> <p>洞口 貴弘</p> <p>洞口 貴弘</p> <p>洞口 貴弘</p> <p>洞口 貴弘</p> <p>洞口 貴弘</p>
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目	解剖学 I・II、生化学、臨床生理学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2(20%)＋期末テストの点数×0.8(80%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約1時間)	
教科書	教科書：「シンプル生理学 第8版」貴呂富久子、根木英雄(南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NFi-103	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 5N050

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3・4回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第5-7回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第8・9回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第10・11回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第12・13回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける。	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学、臨床生理学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2(20%)＋期末テストの点数×0.8(80%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約1時間)	
教科書	「シンプル生理学 第8版」 貴邑富久子、根木英雄 (南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	NF-i-104	

講義科目名称： 臨床生理学

授業コード： 5N051

英文科目名称： Clinical Physiology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-402	

講義科目名称： 生化学

授業コード： 5N052

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用	木村 鮎子
	第2回 糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）	木村 鮎子
	第3回 脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村 鮎子
	第4回 タンパク質とアミノ酸（講義内ミニテスト1回目） アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状）	木村 鮎子
	第5回 酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子	木村 鮎子
	第7回 ビタミン（講義内ミニテスト2回目） ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症	木村 鮎子
	第8回 ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村 鮎子
	第9回 ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na，K，Cl等），微量ミネラル（Fe，Zn等）	木村 鮎子
	第10回 糖質代謝（1）（講義内ミニテスト3回目） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路	木村 鮎子
	第11回 糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患	木村 鮎子
	第12回 脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常	木村 鮎子
	第13回 タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常	木村 鮎子
	第14回 核酸代謝（講義内ミニテスト4回目 ※講義実施曜日により第13回での実施に変更する可能性有（第1回講義で提示する）） 核酸の生合成と分解	木村 鮎子
	第15回 生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造，機能とその代謝を学び，病態に対する生化学の基礎知識を習得する。	
到達目標	1. 糖質とその代謝，脂質とその代謝，タンパク質とその分解，アミノ酸代謝，核酸とその代謝，生体エネルギーについて，生合成や代謝の過程が理解できること。 2. 生体内でのビタミン，ホルモン，ミネラルの役割が理解できること。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目	化学, 生物学, 生理学I, 生理学II, 薬理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%），ミニテスト（30%）により評価する。ミニテスト実施後の問題は各自持ち帰ってもらい，正答と解説を別途提示する（講義内での解説は原則行わない）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう，講義前後に1時間程度，予習・復習を行う。	
教科書	藪田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第4版（羊土社）	
参考書	加藤 秀夫・中坊 幸弘；栄養科学シリーズNEXT生化学（講談社サイエンティフィク） 中元 伊知郎；自分で作る生化学ワークノート（MCメディカ出版）	

	宮澤 恵二；ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学（MCメディカ出版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	なし
ナンバリング	NFi-105

講義科目名称： 病理学

授業コード： 5N053

英文科目名称： General Pathology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
柳田 絵美衣	濱田 誠		

授業形態	講義(15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 第1章病理学総論 I. 病理学とは何か【病理学の意義・病理学の中身・疾病の成立・病理解剖】</p> <p>第2回 II. 染色体・遺伝子・発生の異常【染色体と遺伝子の異常・染色体異常症・先天性形態異常(奇形)】</p> <p>第3回 III. 組織細胞傷害とその修復機構 -1【組織細胞傷害をきたす因子と傷害機序】 -2【細胞傷害の形態像】 -3【壊死】 -4【アポトーシス】</p> <p>第4回 III. 組織細胞傷害とその修復機構 -5~10【肥大・過形成・萎縮・化生・再生・創傷の治癒と肉芽組織】</p> <p>第5回 IV. 物質代謝異常【糖質代謝異常・脂質代謝異常・蛋白質とアミノ酸代謝異常・生体色素代謝異常・無機物代謝異常】</p> <p>第6回 V. 循環障害 -1【局所の循環障害】 虚血・充血・うっ血・血行静止・出血・血栓症・塞栓症・梗塞</p> <p>第7回 V. 循環障害 -2【全身の循環障害】 浮腫・傍側循環・ショック・高血圧症</p> <p>第8回 VI. 炎症 -1【炎症の形態的経過】 細胞と組織の傷害・微小循環の変化</p> <p>第9回 VI. 炎症 -1【炎症の形態的経過】 液性滲出物・炎症の転帰・炎症性細胞の浸潤</p> <p>第10回 VI. 炎症 VI. 炎症 -2~5【炎症性細胞・炎症のケミカルメディエータ・補体系・急性炎症と慢性炎症】 -6【炎症による全身症状】 -7【炎症の諸型】 化膿性炎・カタル性炎・増殖性炎・特異性炎</p> <p>第11回 VII. 免疫異常 VII. 免疫異常【免疫の機構・免疫反応とアレルギーの型・免疫不全・後天性免疫不全症候群(エイズ)・移植と拒絶反応・自己免疫疾患】 病態薬理</p> <p>第12回 VIII. 腫瘍 -1~3【腫瘍の定義・組織学的分類・良性腫瘍と悪性腫瘍】 -1~3【腫瘍の定義・組織学的分類・良性腫瘍と悪性腫瘍】</p> <p>第13回 VIII. 腫瘍 -4~6【異型性と組織学的分化度・多発がんと重複がん・がんの広がり方】</p> <p>第14回 VIII. 腫瘍 -7~10【がんの進行度・腫瘍随伴症候群・腫瘍の生物学・がん遺伝子とがん抑制遺伝子】</p> <p>第15回 VIII. 腫瘍 -11【がん遺伝子とがん抑制遺伝子】</p>	<p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>濱田 誠</p> <p>濱田 誠</p> <p>濱田 誠</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p> <p>柳田 絵美衣</p>
科目の目的	本講義では、臨床検査技師として必要な病理学の基礎知識を習得することを目的とする。疾患の本態を理解するために、細胞や組織の形態変化、炎症・腫瘍などの病的プロセスについて学ぶ。病理学的知見は臨床検査結果の正確な解釈や検体の適切な取扱いに直結するため、講義を通じて病理学的視点を養い、診断支援やチーム医療への貢献に必要な基盤を築く。	
到達目標	1. 病理学の基本的概念を説明できる。 正常組織と病的組織の違い、病因・病態の基本用語を理解し、説明できる。 2. 組織・細胞の病的変化を理解し、代表的な形態変化を説明できる。 細胞障害、壊死、炎症、修復、腫瘍性変化などの機序と組織所見を理解する。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目	解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)で成績とする。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回の授業内容について事前学習（予習）と事後学習（復習）を行うこと。 事前学習に必要な時間の目安は4時間程度。
教科書	教科書： 必要に応じて、講義時に配布する。
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	NFi-106

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 5N054

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
福地 守			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 薬理学を学ぶにあたって 薬理学とは何か、薬理学の基礎知識、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性。	福地 守
	第2回 薬物動態学 薬物の体内動態、薬物の投与経路と薬の吸収・分布・代謝・排泄 (ADME)	福地 守
	第3回 麻酔薬・中枢興奮薬 神経系総論、全身麻酔薬、局所麻酔薬、中枢興奮薬。	福地 守
	第4回 抗炎症薬・解熱鎮痛薬・麻薬 抗炎症薬 (副腎皮質ステロイドとNSAIDs)、解熱・鎮痛薬、麻薬性鎮痛薬、麻薬拮抗性鎮痛薬。	福地 守
	第5回 向精神薬・抗てんかん薬・抗パーキンソン病薬 睡眠薬・抗不安薬・抗精神病薬・抗うつ薬・気分安定薬・抗てんかん薬・抗パーキンソン病薬	福地 守
	筋弛緩薬 筋弛緩薬	福地 守
	第6回 自律神経系に作用する薬物 自律神経系の基礎知識、アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬、コリン作動薬と抗コリン薬。	福地 守
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用、プロスタグランジンの臨床応用。	福地 守
	第8回 強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬 心不全と強心薬、ジギタリス製剤の作用と副作用、その他の強心薬、狭心症治療薬の作用と投与方法、不整脈の分類と治療、抗不整脈薬の種類。	福地 守
	第9回 利尿薬・降圧薬 利尿薬、利尿薬の臨床的応用、降圧薬。	福地 守
	脂質異常症治療薬 脂質異常症と動脈硬化、脂質異常症治療薬。	福地 守
	第10回 消化器系に作用する薬物・駆虫薬 消化性潰瘍治療薬、健胃・消化薬、消化管運動促進薬、制吐薬、下剤、止痢薬、過敏性腸症候群治療薬、潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬、駆虫薬。	福地 守
	第11回 呼吸器系に作用する薬物 気管支喘息治療薬、抗結核薬、鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬。	福地 守
	第12回 物質代謝に作用する薬物 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬、視床下部・下垂体ホルモン製剤、骨粗鬆症治療薬、性ホルモン関連薬。	福地 守
	第13回 貧血治療薬・血液凝固系や線溶系に作用する薬物 貧血治療薬、抗凝固薬と抗血小板薬、血栓溶解薬、止血薬。	福地 守
抗がん薬 抗がん薬の作用と有害作用	福地 守	
第14回 化学療法薬 細胞傷害性抗がん薬、分子標的薬。	福地 守	
抗ウイルス薬 抗ウイルス薬	福地 守	
免疫治療薬 免疫抑制薬、免疫増強薬、予防接種。	福地 守	
第15回 消毒薬 消毒に関する基礎知識、滅菌・消毒法、消毒薬の種類と濃度。	福地 守	
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「社会人としての教養と人の健康にかかわる幅広い知識に裏打ちされた、看護実践に必要な基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬 (服薬、注射、輸液、外用など) の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理	

	学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、看護の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学
成績評価方法・基準	試験（100％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の中に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておくこと。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。
教科書	教科書：使用しない。
参考書	参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず
ナンバリング	NFi-107

講義科目名称： 臨床薬理学

授業コード： 5N055

英文科目名称： Clinical Pharmacology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
福地 守			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-403	

講義科目名称： 病態栄養学

授業コード： 5N056

英文科目名称： Clinical Nutrition

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
本田 佳子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-201	

講義科目名称： 臨床病態学 I

授業コード： 5N057

英文科目名称： Clinical Pathophysiology I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-202	

講義科目名称： 臨床病態学Ⅱ

授業コード： 5N058

英文科目名称： Clinical Pathophysiology II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一	亀山 正樹		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-203	

講義科目名称： 臨床病態学Ⅲ

授業コード： 5N059

英文科目名称： Clinical Pathophysiology III

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFi-204	

講義科目名称： 臨床病態学IV

授業コード： 5N060

英文科目名称： Clinical Pathophysiology IV

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元 かつみ	矢崎 聡	根岸 広明	

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	<p>第1回 性と生殖器の構造・機能・発生、生殖周期とホルモン ・女性生殖器、男性生殖器 ・生殖器の発生と異常、生殖器系の異常（遺伝子・精子・卵子）女性生殖器の機能 ・月経周期、調節機序、卵巣・子宮内膜の周期的変化 ・生殖周期に関わるホルモン 受胎のメカニズム 人の発生と遺伝的要因、性周期とホルモン</p> <p>第2回 女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症 ・思春期の疾患（月経異常 性器奇形 子宮頸がんの予防等） ・成熟期疾患（子宮内膜症 生殖器の疾患 感染症等） ・更年期疾患（月経異常 更年期障害 更年期うつ病等） ・老年期疾患（萎縮性膀胱 排尿障害 骨盤臓器脱等）</p> <p>第3回 生殖補助医療、出生前診断 ・不妊治療の実際 ・出生前診断</p> <p>第4回 妊娠期の健康問題（1） ・ハイリスク妊娠 ・妊娠期の感染症</p> <p>第5回 妊娠期の健康問題（2） ・妊娠疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠）など ・多胎妊娠 ・妊娠持続期間の異常（流産、早産） ・異所性妊娠 など</p> <p>第6回 分娩期の健康問題、異常分娩 ・産道の異常 ・娩出力の異常（微弱陣痛、過強陣痛） ・胎児の異常による分娩障害（胎位の異常、回旋の異常） ・胎児の付属物の異常（前置胎盤、常位胎盤早期剥離） ・胎児機能不全</p> <p>第7回 分娩時合併症と新生児の問題 ・分娩時の損傷（頸管裂傷、会陰裂傷） ・分娩時異常出血（弛緩出血、産科ショック、DIC） ・産科処置と産科手術（帝王切開術、吸引・鉗子分娩、無痛分娩） ・分娩外傷 ・新生児仮死</p> <p>第8回 小児科学概論、新生児総合論 ・小児の成長発達 ・小児期疾患の概要 ・新生児（低出生体重児と早産時の生理と合併症、ビタミンK欠乏性出血症、高ビリルビン血症、マスキリーニング、母児感染）</p> <p>第9回 先天異常、神経、筋、骨疾患 染色体異常や遺伝子異常、てんかん、筋疾患などの診断と治療</p> <p>第10回 循環器、感染症 先天性心臓構造異常、川崎病、不整脈の診断、小児が罹患しやすい感染症の特徴と治療、ワクチン</p> <p>第11回 血液、腫瘍、自己免疫疾患、アレルギー 白血病や脳腫瘍など小児の罹患しやすい疾患概要、アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどの診断と治療、小児の自己免疫疾患の診断</p> <p>第12回 消化器、外科疾患 先天性構造異常の診断と治療、炎症性疾患の診断と治療、整形外科疾患の診断と治療</p>	<p>根岸 広明</p> <p>根岸 広明</p> <p>根岸 広明</p> <p>矢崎 聡</p> <p>矢崎 聡</p> <p>矢崎 聡</p> <p>矢崎 聡</p> <p>矢崎 聡</p> <p>秋元 かつみ</p> <p>秋元 かつみ</p> <p>秋元 かつみ</p> <p>秋元 かつみ</p>

	<p>第13回 呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患 感染やアレルギーを病因とした呼吸器疾患の診断と治療、腎臓泌尿器の先天性構造異常やネフローゼ症候群などの後天性疾患の診断と治療</p> <p>第14回 代謝、内分泌、精神疾患 低身長や糖尿病、性分解異常などの内分泌異常やウイルスン病などの代謝異常の診断、自閉症スペクトラム、神経性やせ症などの精神疾患の診断</p> <p>第15回 重症心身障害児、医療的ケア児、在宅医療 脳性麻痺の診断と治療、在宅医療を含めた医療的ケア児の治療</p>	<p>秋元 かつみ</p> <p>秋元 かつみ</p>
科目の目的	<p>生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症、生殖補助医療の実際、出生前診断について学び、性と生殖及びウイメンズヘルスに関する基礎を理解する。 妊娠・分娩期、早期新生児期における健康問題の特徴について学び、産科医療の臨床的基礎を理解する。 新生児の外部環境適応からその後の発達における生理学的変化及び代表的な小児期特有の疾患について、身体所見、臨床検査、病態、診断、治療方法などの概要を学び、小児医療の臨床的基礎を理解する。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生殖周期とホルモン、女性のライフサイクル各期の疾患、生殖器の感染症について理解できる。 2. 妊娠期の健康問題の特徴とその治療法、分娩の生理と生殖補助医療の実際、出生前診断について理解できる。 3. 経過、異常分娩、新生児の健康問題の特徴を理解できる。 4. 現代における小児科学の在り方と課題について概要を説明できる。 5. 新生児から学童期までの解剖生理学的特徴の概要を説明できる。 6. 小児期特有の代表的疾患の病態生理・症状から臨床検査・診断までの経緯及び治療方法を理解できる。 7. 重症心身障害児の特性と代表的な疾患について説明できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目	<p>専門基礎科目群：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、薬理学、病理学、免疫・感染症学</p> <p>専門科目群：母性看護学総論、母性看護学方法論、小児看護学総論、小児看護学方法論</p>	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前日までに資料と教科書に目を通し、疑問点を整理して授業に臨むこと。1コマ1時間の準備時間で要点をつかむ訓練をする。	
教科書	<p>【教科書】</p> <p>秋元担当回：教科書使用せず</p> <p>根岸担当回：系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院</p> <p>矢崎担当回：系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院</p>	
参考書	<p>秋元担当回：</p> <p>系統看護学講座 小児看護学各論 小児看護学② 第14版 医学書院</p> <p>病気が見えるvol.15 小児科 第1版</p> <p>看護のための臨床病態学 改訂4版 浅野嘉延、吉山直樹</p>	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	<p>Active Academyに授業前に授業の資料を配布（講義前数日から1週間ほど）各自で印刷もしくはPDFで持参のこと。予習をして授業に臨むこと。</p> <p>秋元担当回：授業開始5分過ぎから遅刻とみなす。</p> <p>助産師国家試験受験資格取得のための要件科目</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	実施予定なし（ただし時間の余裕がある場合は症例について討議する時間を設ける）	
ナンバリング	NF-i-205	

講義科目名称： 免疫・感染症学

授業コード： 5N061

英文科目名称： Immunology and Infectious Diseases

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
山田 俊幸			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NF-i-206	

講義科目名称： 臨床検査学

授業コード： 5N062

英文科目名称： Clinical Laboratory Medicine

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	松下 誠・寺澤 文子	林 由里子・石垣 宏尚	高橋あゆ子・濱田 誠

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NF-i-207	

講義科目名称： 発達心理学

授業コード： 5N063

英文科目名称： Developmental Psychology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
諸星 聡美			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション (講義概要、スケジュール、評価方法) 発達心理学とは。エリクソンの理論を中心に生涯発達の視点から発達心理学を学ぶことの意義を捉える。	諸星 聡美
	第2回 発達段階理論 発達理論について学ぶ。エリクソンの心理社会的発達理論について理解し、ピアジェ認知的発達段階理論の概要を知る。	諸星 聡美
	第3回 胎児期の発達 胎児期の胎内での身体や知覚の発達の様子を学ぶ。	諸星 聡美
	第4回 乳児期の発達① 乳児期の特徴、発達について学ぶ。知覚、運動発達、感情の発達など。	諸星 聡美
	第5回 乳児期の発達② 乳児期の特徴、発達について学ぶ。愛着形成、コミュニケーション、認知機能の発達など。	諸星 聡美
	第6回 幼児期の発達① 幼児期の特徴、発達について学ぶ。歩行と探索行動、言葉や認知機能の発達。遊びの重要性について。	諸星 聡美
	第7回 幼児期の発達② 幼児期の特徴、発達について学ぶ。自我、自己・他者認知、社会性の発達について。	諸星 聡美
	第8回 児童期の発達① 児童期の発達、特徴について学ぶ。児童期の思考や認知発達、自己効力感や劣等感について。	諸星 聡美
	第9回 児童期の発達② 児童期の発達、特徴について学ぶ。児童期の思考や認知発達、自己効力感や劣等感について学ぶ。友達関係の広がり、道徳性の発達など。	諸星 聡美
	第10回 神経発達症 (発達障害) ① 神経発達症について学ぶ。特性を持つことの生きづらさを知り、配慮や支援について理解を深める。	諸星 聡美
	第11回 神経発達症 (発達障害) ② 簡単な演習を通して、さらに神経発達症の特性を持つことの生きづらさの理解を深める。	諸星 聡美
	第12回 青年期の発達① 青年期の発達、特徴について学ぶ。思春期と呼ばれる時期の第2次性徴に伴う身体的変化や心理的特性、認知的発達について。	諸星 聡美
	第13回 青年期の発達② 青年期の発達課題である、アイデンティティーの確立や親子関係、友人関係、恋愛関係などの人間関係の変化について。	諸星 聡美
	第14回 成人期の発達 成人前期の特徴について学ぶ。この時期の発達課題である親密性や世代性、また、職業選択、結婚観、中年期危機など社会的、心理的变化について。	諸星 聡美
	第15回 高齢期の発達 高齢期の特徴について学ぶ。この時期の心身の変化、認知機能の変化サクセスフルエイジング、死の受容など。	諸星 聡美
科目の目的	年齢によって人の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野を発達心理学とよぶ。本科目では、人は生涯にわたって発達し続ける存在ととらえ、受胎から死に至るまでの全生涯を対象として、人間の心と身体・行動がどのように変化していくのかを学習する。人間の成長発達を理解する基礎として、各発達段階における知的、心理的、社会的発達、人格の発達等を理解することを目的とする。また、神経発達症 (発達障害) の基礎的な知識を学ぶ	

到達目標	<p>1. エリクソンが区分した8つの発達段階の特徴と、それぞれの段階における発達課題を理解する。</p> <p>2. 各発達段階の知覚、感情と情動の発達、認知の発達、パーソナリティと自我形成、行動の発達の变化についての基礎的な知識を理解し、説明することができる。</p> <p>3. 発達障害（神経発達症）に対する基礎的な知識と支援のポイントについて理解し、発達障害（傾向）を持つ患者への看護に活用する視点を獲得する。</p>
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学、教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療、大学の学び入門、大学の学び—専門への誘い—、多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】臨床心理学、カウンセリング</p> <p>【専門科目群】成人看護学総論、老年看護学総論、小児看護学総論、母性看護学総論、精神看護学総論</p>
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各単元について、教科書や講義資料をもとに、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。
教科書	【教科書】渡辺弥生監修（2021）「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」 ナツメ社
参考書	なし
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより講義資料を配布します。各自、PCにダウンロードして授業に持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	小演習を一部実施
ナンバリング	NFi-108

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 5N064

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
梅沢 智陽			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NF1-208	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 5N065

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
一戸 真子			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 公衆衛生の理念、目的と機能、変遷 集団の健康を守る、公衆衛生学の発展、予防の概念	一戸 真子
	第2回 WHO健康の定義、健康の概念の変遷、ヘルスプロモーション、プライマリ・ヘルスケア WHO, 各宣言、ユニバーサル・ヘルスカバレッジ	一戸 真子
	第3回 健康関連指標 人口静態・人口動態、出生と死亡、平均寿命、健康寿命	一戸 真子
	第4回 健康関連因子 生活環境因子、社会環境因子 (事例検討)	一戸 真子
	第5回 疫学 疫学概念、記述疫学、分析疫学、臨床疫学、EBM、因果関係、スクリーニングの意義	一戸 真子
	第6回 感染症 感染症発生の3要因と予防の原則、感染症法、新興・再興感染症、予防接種	一戸 真子
	第7回 地球温暖化と健康被害 MDGs, SDGs, 生物多様性、レッドリスト、災害と健康 (グループディスカッション)	一戸 真子
	第8回 母子保健、精神保健 乳児死亡率・妊産婦死亡率、育成支援対策、精神保健福祉、アルコール・薬物依存、自殺予防 がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等生活習慣病	一戸 真子
	第9回 老人保健福祉、成人保健 健康増進法、後期高齢者医療制度、介護保険法、医療介護総合確保推進法、がん対策基本法、難病法	一戸 真子
	第10回 サービス提供体制における質管理体制 救急医療体制、在宅医療、地域保健・医療・福祉・介護連携、院内・施設内感染管理	一戸 真子
	第11回 生活習慣、公害、廃棄物処理 健康日本21、休養・睡眠、運動、公害と防止対策、公害健康被害補償の原則、循環型社会	一戸 真子
	第12回 栄養と食品衛生 栄養、食中毒発生状況の変遷・種類と予防法、HACCP	一戸 真子
	第13回 産業保健、学校保健 労働環境、職業病の種類と予防法、労働安全衛生、学校保健安全、医療的ケア児	一戸 真子
	第14回 公衆衛生の実施機関 保健所と区市町村保健センター、厚生労働省の役割	一戸 真子
	第15回 グローバル健康危機管理 リスクアセスメント、リスクコミュニケーション	一戸 真子
科目の目的	公衆衛生学は、公共の健康、つまり集団を中心とする人々の健康を考える学問であり、地球上に住むすべての人々の健康課題の解決を目的とした予防を中心とする医学である。本科目の目的は、健康とは何か、健康に関連する要因は何かについて、多面的に分析する能力の醸成と理解を深めることである。学校や職場などの集団の場における健康課題と解決方法についても理解を深める。グローバルな健康対策および健康課題へのアプローチについても理解を深めることを本科目の目的とする。	
到達目標	1. 健康の定義、健康に関連する各要因について説明できる。 2. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解している。 3. 感染症の理解および集団の健康について理解している。 4. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等について説明できる。 5. ヘルスプロモーションの重要性について説明できる。 6. グローバルな視点からの健康危機管理について説明できる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	

関連科目	社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、疫学、保健統計、免疫・感染症学、国際看護
成績評価方法・基準	試験70%、授業内レポート30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「国民衛生の動向」は特に公衆衛生の現実社会をエッセンスがまとめられている最も重要なテキストである。 講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。 予習および復習の各学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり4時間
教科書	「公衆衛生」 神馬征峰他（医学書院）（最新版） 「国民衛生の動向 最新版」（一般財団法人 厚生労働統計協会）
参考書	「公衆衛生がみえる」（メディックメディア）（最新版）
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	地球温暖化と災害などに関する健康課題の増加など、近年、公衆衛生の重要性がより高まっているので、しっかり学んで欲しい。
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション、事例検討（ケーススタディ）
ナンバリング	NFj-101

講義科目名称： 疫学

授業コード： 5N066

英文科目名称： Epidemiology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎 有紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-201	

講義科目名称： 保健統計

授業コード： 5N067

英文科目名称： Statistics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林 亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-202	

講義科目名称： 社会福祉・社会保障制度論

授業コード： 5N068

英文科目名称： Social Welfare and the Social Insurance System

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	松原 直樹		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-203	

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 5N069

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation Science

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
村田 和香	佐藤 満		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-204	

講義科目名称： カウンセリング

授業コード： 5N070

英文科目名称： Counseling

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
大石 武信			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-205	

講義科目名称： 地域保健行政

授業コード： 5N071

英文科目名称： Community Health Administration

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美	依田 裕子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-301	

講義科目名称： 緩和医療学

授業コード： 5N072

英文科目名称： Palliative Medicine

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤 龍生	小林 剛	本多 昌子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践、専門性の探求	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NFj-401	

講義科目名称： 看護学概論 I

授業コード： 5N073

英文科目名称： Introduction to Nursing I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態	講義 8回			担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・看護とは（1） 看護の定義、特徴と社会的責任について学ぶ。 発問シート		萩原 一美
	第2回	看護とは（2） 看護の歴史の変遷について学ぶ。 発問シート	*課題レポートあり	萩原 一美
	第3回	看護の対象（1） 看護の対象である人間の心と身体の間を学ぶ。 発問シート		萩原 一美
	第4回	看護の対象（2） 看護の対象である人間の健康の捉え方を学ぶ。 発問シート		萩原 一美
	第5回	看護の対象（3） 看護の対象の人間としての生涯発達と「暮らし」を学ぶ。 発問シート		萩原 一美
	第6回	看護の提供者（1） 看護の役割と機能を学ぶ。 発問シート	*課題レポートあり	萩原 一美
	第7回	看護の提供者（2） 看護職の養成制度を学ぶ。 発問シート		萩原 一美
	第8回	看護とは（3） 看護における倫理を学ぶ。 発問シート		萩原 一美
科目の目的	看護の歴史の変遷を踏まえ、看護学の主要概念である「人間」「環境」「健康」「看護」を掘り下げて学ぶことにより、看護とは何かを考察する。また、看護の対象を理解した上で、看護提供者としての役割と責務を看護に関連する法律と関連づけて理解する。			
到達目標	1. 看護の主要概念（健康・環境・人間・看護）について考察し、その関連性を説明できる。 2. 看護の歴史と変遷について説明できる。 3. 看護提供者としての役割と責務を説明できる。 4. 看護とは何かについて自己の考えを表現できる。			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解、国際的な視野			
関連科目	基礎看護技術演習、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション論、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、看護過程論入門、看護過程展開論、治療援助学演習の基礎看護学領域の科目だけでなく、専門領域の看護学全般の基盤となる。			
成績評価方法・基準	筆記試験（60%）、課題レポート（8%） 発問シート（24%）＋ミニツツペーパー（8%）			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと。1コマあたり4時間の事前学習と事後学習が必要。予習として、授業の主題に関連するページを熟読する時間（2時間）、復習として授業で配布された講義資料とテキストを読み比べ、授業内容を整理する時間（2時間程度）を必要とする。			
教科書	教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 第18版 茂野 香おる 吉岡 京子 他 医学書院			
参考書	なし			
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照			
国家試験出題基準				
履修条件・履修上の注意	授業中に、発問に対して考えその結果を記述するので、日常的に自己の考えを整理して、論理的に表現できるような習慣を心掛けて、授業に臨むことが必要である。発問シートは、提出が評価となるのではなく、記述内容によって評価する。			
アクティブ・ラーニングの実施	看護師はコミュニケーションを活用し、考えながら行動する職業である。そこで、「考える」「表現する」という学習習慣を身につけるために、各回の講義で主題に関連する内容を説明する。その、説明内容に沿った1～2つの発問をする。その発問に対して「考え」、結果をシートに「表現する」。記述時間は授業時間内に15分から30分程度確保する。			
ナンバリング	NSk-101			

講義科目名称： 看護学概論Ⅱ

授業コード： 5N074

英文科目名称： Introduction to Nursing II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	長嶺めぐみ		

授業形態	講義 8回		担当者
授業計画	第1回	看護理論（1）講義 看護学の特徴や看護実践の方法を理解するために、根拠となる看護理論を適用する。発問シート	萩原 一美
	第2回	看護提供のしくみ（1）講義 看護ケアをサービスとして提供するための、看護提供方式の考え方を説明する。発問シート	萩原 一美
	第3回	看護提供のしくみ（2）講義 看護・医療を提供するためのチーム医療の一員となることを自覚するために、医療安全・多職種連携に関する概念を説明する。発問シート	萩原 一美
	第4回	看護における倫理（1）講義 前期の看護倫理をさらに発展させて、看護倫理に対する理解を深める。自分の日常生活の中で生じる倫理的ジレンマを説明する。ポート・発問シート	萩原 一美
	第5回	看護における倫理（2）講義 看護倫理とは何か、看護における倫理の必要性を考察する。シート	萩原 一美
	第6回	広がる看護の活動領域（国際看護・災害看護）講義 国際看護、災害看護の基礎知識および看護の役割・活動に関心をもつ。シート	長嶺 めぐみ
	第7回	看護職のキャリア・看護政策 講義 看護職のキャリア形成の必要性を理解するために、看護職の歴史的変遷と継続教育を関連づけて説明する。ポート・発問シート	萩原 一美
	第8回	看護提供の仕組み（3）（看護管理・制度と政策）講義 社会のニーズに対応できる看護職となるために、看護実践と看護政策・看護管理を関連付ける説明する。発問シート	萩原 一美
科目の目的	「看護学概論Ⅰ」の学習を踏まえ、看護の見方・考え方の基盤として看護理論について学習し、看護学の特徴や看護実践への活用方法を理解する。また、倫理上の課題、医療事故の問題等について考え、看護師を目指すものとして現実の課題について関心をもつ。国際看護・災害看護の基礎知識および活動について理解する。また、看護職とキャリア発達、看護政策、看護管理との関連性を理解する。		
到達目標	1. 看護理論家の理論を構成する主要概念や特長について説明できる。 2. 看護の倫理原則及び倫理的概念について説明できる。 3. 医療現場で生じる倫理的課題を考察できる。 4. 看護の倫理的課題、医療安全の側面から社会における看護の役割について説明できる。 5. 国際看護・災害看護の基礎知識をふまえて看護の役割、機能について説明できる。 6. 看護職のキャリア形成と継続教育を関連付けて説明できる。 7. 社会のニーズに対処できる看護職となるために、看護実践と看護政策・看護管理を関連付けて理解する。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解、国際的な視野		
関連科目	既習学習の基礎看護技術演習、看護学概論Ⅰ、同時進行の日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、2年次以降の看護過程入門、看護過程展開論演習、ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、治療援助学演習の基礎看護学の科目と、専門領域の看護学全般の基盤となる。		
成績評価方法・基準	筆記試験（60％） 発問シート（24％） 課題レポート（12％） ミニツペーパー（4％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと 1コマあたり4時間の事前学習・事後学習を必要とする。予習として、授業の主題に関連するページを熟読する時間（2時間）、復習として授業で配布された講義資料とテキストを読み比べ、授業内		

	容を整理する時間（2時間程度）を必要とする。
教科書	教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 第18版 茂野香おる，吉岡京子、他 医学書院
参考書	授業の中で紹介する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	発問シートの記入は、授業時間内に10分～20分程度の時間を確保する。但し、記述内容を評価するので、発問シートの提出がそのまま得点となるわけではない。したがって日常的に限られた時間内に、自己の考えを整理して、論理的に表現できるような習慣を心掛けて、授業に臨むことが必要である。
アクティブ・ラーニングの実施	授業中に、発問に対して考えその結果を記述するので、日常的に自己の考えを整理して、論理的に表現できるような習慣を心掛けて、授業に臨むことが必要である。発問シートは、提出が評価となるのではなく、記述内容によって評価する。
ナンバリング	NSk-102

講義科目名称： 基礎看護技術演習

授業コード： 5N075

英文科目名称： Practice in Basic Nursing Skills

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大川 美千代	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺 めぐみ
	村田 亜夕美	森田 綾子	

授業形態	【講義10回、演習13回】		担当者
授業計画	第1回	看護技術と看護技術の基本原則（講義） 看護技術と看護技術の基本原則を学ぶ。	大川美千代
	第2回	看護援助に共通の基本技術：観察・患者－看護師関係（講義） 看護援助に共通する看護技術としての観察の意義・目的・方法を理解する。 看護の対象である患者と看護師との関係を理解する。	大川美千代
	第3・4回	看護技術の提供の場/看護援助に共通の基本技術（患者－看護師関係）（演習） 看護技術を習得する場である実習室について理解する。 看護の対象である患者と看護師の関係を理解する。 「観察・説明と同意・関係を構築する方法」の実施から、患者－看護師関係を理解する。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第5回	看護援助に共通の基本技術：感染予防（講義） 看護援助に共通する看護技術としての感染予防（標準予防策）の意義・目的・方法を理解する。	大川美千代
	第6・7回	看護援助に共通の基本技術の実際：感染予防（演習） 看護援助に共通する看護技術としての感染予防（標準予防策）を実施できる。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第8回	看護援助に共通の基本技術の実際：ボディメカニクス・体位と体位変換（講義） 看護援助のためのボディメカニクスの意義・方法・留意点を理解する。 対象の体位調整と体位変換の意義・方法を理解する。 対象の体位調整と体位変換の援助を理解する。	大川美千代
	第9・10回	看護に共通の基本技術の実際：ボディメカニクス・体位と体位変換（演習） 看護援助に共通する看護技術としてのボディメカニクスを実施できる。 対象の体位調整および体位変換を実施できる。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第11回	療養環境を整える看護援助①：療養環境と看護（講義） 看護の対象の療養環境について看護理論より理解する。 看護理論より、現代における対象の療養環境を理解する。	大川美千代
	第12回	療養環境を整える看護援助②：療養環境と療養環境の整備（講義） 看護の対象と取り巻く環境を理解する。 療養環境を整える意義・方法・留意点を理解する。 療養環境を整える援助を理解する。	大川美千代
	第13・14回	看護援助の実際：療養環境と療養環境の整備（講義） 対象の療養環境を理解する。 療養環境を整える援助を実施できる。	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第15回	療養環境を整える看護援助③：ベッドメイキングとリネン交換（講義） 療養環境としてのベッドメイキングおよびリネン交換を理解する。	大川美千代
	第16・17・18回	療養環境を整える看護援助の実際：ベッドメイキング（演習） ベッドメイキングの援助を実施できる。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第19・20回	療養環境を整える看護援助の実際：臥床患者のシーツ交換（演習） 臥床患者のシーツ交換の援助を実施できる。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田

	第21・22回 療養環境を整える看護援助の実際：シーツ交換 技術の確認（演習） シーツ交換の援助を実施できる。 提出課題あり	大川・萩原・堀込・長嶺・村田・森田
	第23回 療養環境を整える看護援助における看護の専門性／看護を提供するための技術習得のプロセス（講義） 療養生活を整える援助が看護の専門性であることを学習する。 看護を提供するための看護技術を習得するプロセスを学ぶ。	大川美千代
科目の目的	人間を対象とする専門技術である看護技術の基本的概念や特徴を学習する。看護の専門知識に基づき、対象者への目的意識的な直接的行為である看護技術の原理・原則を学習する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術の特徴と基本原理を説明できる。 2. 看護技術の基本原理・原則と看護技術習得のプロセスを説明できる。 3. 看護の対象である患者と看護師の関係について説明できる。 4. 看護に共通の基本的な技術（観察・感染予防/標準予防策・ボディメカニクス・体位変換）を実施できる。 5. 療養生活の場である療養環境について説明できる。 6. 療養環境を整える援助（療養環境の整備・ベッドメイキング・臥床患者のシーツ交換）を実施できる。 7. 療養環境を整える援助を受ける対象を尊重した態度で援助が実施できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、看護の実践	
関連科目	教養科目群：教育学、メディアリテラシー、 専門基礎科目群：解剖学Ⅰ・生理学Ⅰ 専門科目群：看護学概論Ⅰ	
成績評価方法・基準	筆記試験（60％） 提出課題（40％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【準備学習の内容】 授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にして授業に臨む。 授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、課題に取り組む。 基礎的知識、看護技術の習得に向けて、主体的、積極的に学習に取り組む。 授業を基に、理解できなかった内容の復習および課題に取り組む。 【学習に必要な自己時間の目安】 ・予習・復習を合わせ、1コマ当たり30分程度。	
教科書	教科書：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア出版	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照	
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照	
履修条件・履修上の注意	授業内で配布される「演習の手引き」を熟読し、準備を行い演習に臨む。 演習の際、特に指示がない場合は、ユニフォーム・ナースシューズ・名札を着用する。	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習	
ナンバリング	NSk-103	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	千葉 今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）	
授業の概要	看護の対象へ提供するための具体的な看護活動に共通する技術を学ぶ。看護技術とは何か、また、看護活動の基盤となる安全確保の技術、看護の対象を「よく観る」ための観察、看護技術を提供するための対象との関係づくり、看護の対象の療養生活について学ぶ。今後1年次後期・2年次で学ぶ援助方法、さらには対象のライフステージに合わせた臨床での援助方法の基盤となる共通の看護技術を習得する。	

講義科目名称： コミュニケーション論

授業コード： 5N076

英文科目名称： Communication Theory

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大川 美千代	堀込 由紀	長嶺 めぐみ	村田 亜夕美
	森田 綾子		

授業形態	【講義】 4回 【演習】 4回		担当者
授業計画	<p>第1回 コミュニケーションの意義と目的・構成要素と成立過程：講義 1. コミュニケーションの意義と人間のコミュニケーションの特徴を学ぶ。発問シート有 1) 医療・看護におけるコミュニケーション 2) コミュニケーションと観察 2. コミュニケーションにおける構成要素と成立過程を理解する。</p> <p>第2回 看護におけるコミュニケーションの実際（カンファレンス）：講義 1. カンファレンスにおける基本的な知識を理解する。 発問シート有</p> <p>第3回 看護におけるカンファレンスの実際：演習（カンファレンス） 日常生活援助学演習Ⅰでの体験に基づくテーマカンファレンスを行う。演習ワークシート有 カンファレンスにおける役割（司会・参加者）の役割を体験する。 カンファレンスの体験をとおして、自己のコミュニケーションの課題を分析・考察する。</p> <p>第4回 看護における対人関係を振り返る方法（プロセスレコード、ロールプレイ、リフレクション）：講義 1) プロセスレコード 発問シート有 2) ロールプレイ 3) リフレクション</p> <p>第5回 コミュニケーションの方法：演習（ロールプレイ） 事例のロールプレイをグループで実践する。 演習ワークシート有 ロールプレイ終了後にテーマカンファレンスを行う。</p> <p>第6回 コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード①） 自身の日常会話の中から、気がかりなこと、違和感を感じた場面を再構成し、プロセスレコードの構成要素を理解する。 演習ワークシート有</p> <p>第7回 コミュニケーションを振り返る方法：演習（プロセスレコード②） 看護における傾聴・受容・共感について考える。 日常生活援助学演習Ⅱでの体験をプロセスレコードを用いての再構成し、自己のコミュニケーションを振り返る。 演習ワークシート有</p> <p>第8回 看護におけるコミュニケーションの意義と援助関係に必要なコミュニケーション：講義 看護職に必要なコミュニケーション技法の活用をとおして、患者一看護師関係の構築に必要なコミュニケーションの要素を考察する。 発問シート有</p>	<p>大川 美千代</p> <p>大川 美千代</p> <p>大川・堀込・長嶺・村田・森田</p> <p>大川 美千代</p> <p>大川・堀込・長嶺・村田・森田</p> <p>大川・堀込・長嶺・村田・森田</p> <p>大川 美千代</p>	
科目の目的	患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーションの意義と目的、方法を学習する。その上で、対人関係コミュニケーションにおける相互作用の重要性に気づき、看護職に求められるコミュニケーションを考察する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーションの構成要素と過程を説明できる。 2. 患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーション技法を説明できる。 3. 他者とのコミュニケーションをプロセスレコードを用いて振り返り、自己のコミュニケーションの課題に気づく。 4. 看護職に求められるコミュニケーション力を考え、説明する。 		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解		
関連科目	教養科目群：社会学、教育学、 専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、看護基礎技術論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ		
成績評価方法・基準	筆記試験（70%）演習ワークシート（20%） 発問シート（6%） ミニツペーパー（4%）		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に合わせて課題を提示する。本科目に必要な自己学習時間は30時間である。従って1コマあたり4時間の事前・事後学習が必要である。
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 医学書院
参考書	授業内で紹介する
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	コミュニケーション技術は看護職にとって重要なスキルであり、コミュニケーションスキルを磨くことは看護学生にとって大きな課題である。また本科目は、看護基礎実習の履修に関連する重要な科目となるため、日常的な他者とのコミュニケーション場面を思い出し、他者との応答を分析して授業に臨むことが望ましい。特に、コミュニケーションに苦手
アクティブ・ラーニングの実施	第3・5・6・7回は、第1・2・4回の講義内容を前提とした体験学習・グループディスカッション等を行う。
ナンバリング	NSk-104

講義科目名称： 日常生活援助学演習 I

授業コード： 5N077

英文科目名称： Practice in Daily Life Care I

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
村田 亜夕美	萩原 一美	堀込 由紀	大川美千代
	長嶺 めぐみ	森田 綾子	伊藤順子

授業形態	講義 (7回)、演習 (8回)	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 1.人間の基本的ニーズを満たすための看護援助：講義 1) 日常生活行動と基本的ニーズ 2) 日常生活行動とその意義 3) 日常生活援助と日常生活援助技術 4) 日常生活援助における看護の役割	村田 亜夕美
	第2回 2.活動と運動に関する看護援助：講義 1) 活動と運動の意義 2) 活動と運動に影響する要因 3) 活動と運動の援助の必要性を判断するための視点 4) 活動と運動を促す看護援助	村田 亜夕美
	第3.4回 3.活動に関する看護援助の実際：演習 1) 床上での移動 2) 車いす、ストレッチャーへの移乗 3) 車いす、ストレッチャーでの移送 *提出課題あり	村田・萩原・堀込・大川・長嶺・森田
	第5回 4.安楽の確保に関する看護援助：講義 1) 安楽の意義 2) 安楽に影響する要因 3) 安楽の確保に関する看護援助 褥法・安楽な体位 ほか	村田 亜夕美
	第6回 5.安楽確保のための援助の実際：演習 安楽な体位：体位保持・ポジショニング *提出課題あり	村田・萩原・堀込・大川・長嶺・森田
	第7回 6.食事と栄養に関する看護援助①：講義 1) 食事と栄養の意義 2) 食事に関するメカニズム 3) 栄養と食事摂取のアセスメント 4) 栄養と食事摂取に影響する要因	村田亜夕美
	第8回 6.食事と栄養に関する看護援助①：演習 1) 食事援助の必要性 2) 食事援助の方法と留意点 3) 食事援助時の看護 *提出課題あり	村田亜夕美・伊藤順子
	第9.10回 7.食事に関する看護援助の実際②：演習 食事の援助 *提出課題あり	村田・萩原・堀込・大川・長嶺・森田・伊藤
	第11回 8.排泄に関する看護援助①：講義 1) 排泄の意義 2) 排泄に関するメカニズム 3) 排泄状態 (尿・便) のアセスメント 4) 排泄 (尿・便) に影響する要因	村田 亜夕美
	第12回 8.排泄に関する看護援助②：講義 5) 排泄援助の必要性 6) 排泄援助の方法と留意点 7) 排泄援助時の看護	村田 亜夕美
	第13.14回 9.排泄に関する看護援助の実際：演習 1) 便器・尿器による床上排泄の援助 2) 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた排泄の援助 *提出課題あり	村田・萩原・堀込・大川・長嶺・森田

	<p>第15回</p> <p>10. 休息に関する看護援助：講義 1) 休息と睡眠の意義 2) 休息と睡眠に影響する要因 3) 休息と睡眠を促す看護援助</p> <p>11. 患者の基本的ニーズを満たすための看護援助 1) 日常生活援助の必要性を判断するための視点 2) 日常生活援助方法の選択と留意点 3) 日常生活援助（活動・休息・食事・排泄）における看護の専門性 4) 日常生活援助技術の習得のプロセス</p>	村田 亜夕美
科目の目的	対象者のニーズに応じた日常生活（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、安楽と休息・睡眠、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や看護者の役割を、体験をとおして学ぶ。	
到達目標	1. 日常生活上の生理的ニーズ(活動と休息、食生活と栄養、排泄)を満たすための意義と方法を説明できる。 2. 日常生活上の生理的ニーズ(活動と休息、食生活と栄養、排泄)を満たすための援助を実施できる。 3. 日常生活上の生理的ニーズ(活動と休息、食生活と栄養、排泄)を満たすための援助を受ける対象の気持ちに気づくことができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践	
関連科目	教養科目：教育学、メディアリテラシー 専門基礎科目：解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学、病理学、発達心理学 専門科目：看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術演習、コミュニケーション論、日常生活援助学演習Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験(70%)、提出課題(30%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【準備学習】 ・予習：授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にする。演習の予習課題を授業時に提示する。演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、課題に取り組む。 ・復習：予習課題の解説を演習時に行う。解説を参考にし、提出課題を完成させる。 【学習に必要な時間の目安】 ・予習・復習を合わせ、1コマあたり60分程度	
教科書	教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 教科書2：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 教科書3：看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア出版	
参考書	指定なし	
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	演習時は、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨む。予習課題と提出課題に取り組み、期日までに提出する。	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習	
ナンバリング	NSk-105	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	村田 亜夕美(看護師)、萩原 一美(看護師)、堀込 由紀(看護師)、千葉 今日子(看護師)、長嶺 めぐみ(看護師)、森田 綾子(看護師)	
授業の概要	「基礎看護技術演習」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助(食生活と栄養、排泄、活動と休息)に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、睡眠と休息、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。	

講義科目名称： 日常生活援助学演習Ⅱ

授業コード： 5N078

英文科目名称： Practice in Daily Life Care II

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子	萩原 一美	堀込 由紀	大川美千代
	長嶺めぐみ	村田亜夕美	

授業形態	講義3回、演習12回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・清潔保持と衣生活1/講義 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて学ぶ。	森田綾子
	第2回	清潔保持と衣生活2/講義 清潔の保持や衣生活の援助の意義、療養生活で用いる衣類の種類と取り扱いについて学ぶ。	森田綾子
	第3回	清潔保持と衣生活3/講義 清潔保持に関する援助方法を学ぶ。熱布を体験して温熱刺激を行うことによる安楽の促進技術を学ぶ。	森田綾子
	第4回	整容・寝衣交換1/演習 整容の方法について習得する。 様々なタイプの寝衣と、その着脱に関する援助方法を習得する。 *課題提出あり	堀込・萩原 一美・大 川・長嶺・ 村田・森田
	第5回	寝衣交換2/演習 臥床患者の寝衣交換（浴衣タイプからセパレートタイプの病衣等）の援助方法を習得する。 *課題提出あり	堀込・萩原 一美・大 川・長嶺・ 村田・森田
	第6～8回	部分浴/演習 部分浴（洗髪）の援助方法を習得する。 ケリーパッド及び洗髪車を使用した洗髪の援助方法を習得する。 *課題提出あり	森田・萩原 一美・堀 込・大川・ 長嶺・村田
	第9～10回	部分浴/演習 部分浴（足浴）の援助方法を習得する。 臥位での足浴及び座位での足浴の援助方法を習得する。 *課題提出あり	堀込・萩原 一美・大 川・長嶺・ 村田・森田
	第11～14回	全身清拭+寝衣交換・陰部洗浄/演習 臥床患者の全身清拭及び陰部洗浄の援助方法を習得する。 *課題提出あり	堀込・萩原 一美・大 川・長嶺・ 村田・森田
第15回	筋力低下した臥床患者の寝衣交換についての検討・まとめ/演習 筋力低下のある臥床患者の寝衣交換の援助方法を検討する。グループワークを実施し、ロールプレイを行い、個別性に配慮した、より適切なケアの提供についてを討議する。 *課題提出あり	森田・萩原 一美・堀 込・大川・ 長嶺・村田	
科目の目的	「基礎看護技術演習」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験を通して学ぶ。		
到達目標	1. 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて説明できる。 2. 清潔の保持や衣生活の援助の意義とその援助方法について説明できる。 3. 患者のニーズに応じ、かつ、安全で根拠のある清潔の援助を実施することができる。 4. 援助を受ける対象者に関心を持ち、患者のニーズに配慮した安心・安楽なケアの必要性に気付き表現することができる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践		
関連科目	教養科目：教育学、メディアリテラシー 専門基礎科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、発達心理学 専門科目：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ、コミュニケーション論		
成績評価方法・基準	筆記試験（50%）：講義内容を踏まえ、ケアに関する基本的知識が理解できているかを測る筆記試験を行う。 提出課題（50%）：演習等で指定する事前・事後学習内容について評価する。		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。演習の場合には事前課題に取り組む。 【復習】講義・演習終了後、該当ページを熟読する。演習後は事後課題に取り組み技術を振り返り、技術の根拠や手順について理解を深める。 【学習に必要な自己学習の目安】 予習・復習を合わせて、1コマ当たり60分程度。
教科書	教科書1：系統看護学講座専門分野 基礎看護学技術Ⅱ 医学書院 教科書2：看護が見える Vol.1 医療情報科学研究所
参考書	指定しない。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に講義・演習に臨むこと。演習では身だしなみを整え参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	本科目は基本的看護技術を習得するために必要な知識、技術、態度を学習するため、教室または主として基礎・臨床看護学実習室にて学生間で技術練習を行う
ナンバリング	NSk-106
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込 由紀（看護師）、萩原 一美（看護師）、千葉 今日子（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	「基礎看護技術演習」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な衣生活及び清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。

講義科目名称：ヘルスアセスメント

授業コード：5N079

英文科目名称：Health Assessment

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-201	

講義科目名称：ヘルスアセスメント演習

授業コード：5N080

英文科目名称：Practice in Health Assessment

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
森田 綾子	萩原 一美	堀込 由紀	千葉 今日子
	長嶺 めぐみ	村田 亜夕美	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-202	

講義科目名称： 看護過程論入門

授業コード： 5N081

英文科目名称： Introduction to Nursing Process Theory

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-203	

講義科目名称： 看護過程展開論演習

授業コード： 5N082

英文科目名称： Practice in Nursing Process

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大川 美千代	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺 めぐみ
	村田 亜夕美	森田 綾子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-204	

講義科目名称： 治療援助学演習

授業コード： 5N083

英文科目名称： Practice in Therapeutical Nusing Care

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺 めぐみ	萩原 一美	堀込 由紀	千葉 今日子
	村田 亜夕美	森田 綾子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-205	

講義科目名称： 基礎看護学特論

授業コード： 5N084

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原 一美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSk-401	

講義科目名称： 地域・在宅看護学総論

授業コード： 5N085

英文科目名称： Introduce to Home and Community-based Care Nursing 対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美			

授業形態	講義（5回）、演習（3回）		担当者
授業計画	第1回	人々の暮らしと地域・在宅看護（講義） 地域・在宅看護の社会的背景・現状、人々の暮らしの理解、地域・在宅看護の基盤となる考え方、地域・在宅看護に求められる役割	小林亜由美
	第2回	暮らしの基盤としての地域の理解（講義） 暮らしと地域を理解するための考え方、地域ケアシステムと地域共生社会	小林亜由美
	第3回	地域・在宅看護の対象者（講義） 看護の対象者としての家族の理解、家族のライフステージの理解と看護	小林亜由美
	第4回	地域における暮らしを支える看護（講義） 地域における対象者への看護、地域における家族への看護、地域におけるライフステージに応じた看護	小林亜由美
	第5回	地域・在宅看護に関わる制度（講義） 介護保険制度の概要、訪問看護制度の概要	小林亜由美
	第6回	地域・在宅看護の事例検討①（演習） 「対象者・家族の事例」に関するグループワーク	小林亜由美
	第7回	地域・在宅看護の事例検討②（演習） 「対象者・家族の事例」に関するグループワーク	小林亜由美
	第8回	地域・在宅看護の事例検討③（演習） グループワーク結果発表・まとめ	小林亜由美
科目の目的	地域・在宅看護が求められている社会的背景・現状を踏まえ、地域・在宅看護の対象者である療養者及びその家族の「生活の場」における地域・在宅看護の目的、役割を思考し、地域・在宅看護の展開方法を理解する。また、地域・在宅看護の提供における法的根拠を理解する。		
到達目標	1. 地域・在宅看護の基盤となる考え方及び役割について説明できる。 2. 地域・在宅看護の対象である人々の暮らし及び地域について説明できる。 3. 地域・在宅看護の対象である療養者とその家族について説明できる。 4. 地域における暮らしを支える看護について説明できる。 5. 地域・在宅看護に関わる制度について説明できる。		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野		
関連科目	看護学への誘い、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、成人看護学総論、老年看護学総論、精神看護学総論		
成績評価方法・基準	定期試験（50%）、ワークシート評価（20%）、グループワーク評価（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	人口構造の変化、国民の健康意識、保健・医療・福祉の現状、ライフサイクル上の発達課題などから、地域・在宅看護の必要性との関連性について事前学修し知識を得ておく。授業終了後は講義資料やテキストを確認し理解を深める。1コマにつき4時間程度の学修が必要である。		
教科書	系統看護学講座 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第7版 河原加代子（医学書院）		
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版 臺有桂（メディカ出版）		
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	講義資料は、前回授業翌日から当該授業日までの間にActive Academy Advanceにアップロードするので、各自準備して授業に出席してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク、プレゼンテーション		
ナンバリング	NS1-101		

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論

授業コード： 5N086

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美	反町 真由	林 恵	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NS1-201	

講義科目名称： 地域・在宅看護展開論

授業コード： 5N087

英文科目名称： Practice in Nursing Process of Home and Community-based Care Nursing 対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由	小林 亜由美	林 恵	
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NS1-202		

講義科目名称： 地域・在宅看護学演習

授業コード： 5N088

英文科目名称： Practice in Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由	齋藤 基	林 恵	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NS1-301	

講義科目名称： 地域・在宅看護学特論

授業コード： 5N089

英文科目名称： Advance Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林 亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NS1-401	

講義科目名称： 成人看護学総論

授業コード： 5N090

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	金子吉美		

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	第1回 成人と生活 成人看護の対象となる大人の生活の特徴について学習する。 keywords：生活様式、家族形態と機能、社会状況の変化、成人の健康の特徴、諸外国における成人の健康の特徴	萩原 英子
	第2回 成人各期の特徴と健康問題 成人各期（青年期、壮年期・中年期、向老期）における発達課題と身体的・心理的・社会的特徴について学習する。また、成人の健康の状況について学習する。 keywords：成人各期の身体的・心理的・社会的特徴、就労と疾病の関連、諸外国における成人の健康問題の特徴	萩原 英子
	第3回 成人の健康と保健・医療・福祉システム 成人の健康を守る保健・医療・福祉システムの概要について学習する。 keywords：保健・医療・福祉システム、健康増進と生活習慣病の予防	萩原 英子
	第4回 健康をおびやかす要因と看護 生活行動がもたらす健康問題とその予防方法について学習する。 keywords：生活習慣と健康、職業性疾病	金子 吉美
	第5回 ストレスと健康生活 ストレスが健康に及ぼす影響とストレスマネジメントについて学習する。 keywords：ストレス、ストレスマネジメント	金子 吉美
	第6回 成人への看護アプローチの基本 チームアプローチにおける看護師の役割、看護実践における倫理的判断、意思決定支援、家族支援について学習する。 keywords：倫理的判断、意思決定支援、家族支援	金子吉美
	第7回 成人の健康障害と看護① がんとともに生活する人の講義を受けて、急激な健康破綻に陥った患者に対する看護について考える。 ※ワークシート提出あり [guest speaker:がん患者] keywords：治療の意思決定、抗がん剤治療、ピアサポート、がんサバイバーシップ	萩原 英子
	第8回 成人の健康障害と看護② 難病とともに生活する人の講義を受けて、慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者に対する看護について考える。 ※ワークシート提出あり [guest speaker:難病患者] keywords：生活の再構築、セルフケア、患者会	萩原 英子
科目の目的	成人看護の対象である成人期にある人々の特徴と健康問題を理解し、健康の保持・増進および健康障害を持った人々への看護のあり方を考察する。	
到達目標	1. 成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 2. 成人保健の動向と保健・医療・福祉システムについて説明できる。 3. 成人期にある人々への基本的な看護アプローチの方法を説明できる。 4. 健康障害を持ちながら生活する成人に対する看護アプローチについて、自分の考えを述べることができる。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目	成人看護学方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、成人看護学特論、救急看護、看護学概論Ⅰ、老年看護学総論、公衆衛生学、臨床看護基盤実習	
成績評価方法・基準	定期試験(期間外/筆記試験)85%、準備学習ワークシート5%、期末レポート10%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	準備学習として、授業計画欄に記載しているキーワードに基づき、教科書を事前に読んでくこと。また、第7・8回については初回講義時に配布される準備学習ワークシートに取り組むこと。復習として、講義終了後は、教科書や配布した資料をよく読み、理解できたか確認をすること。(30時間分相当)
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院
参考書	国民衛生の動向 厚生指標 2025/2026年版
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止する。 ゲストスピーカーの方に対しての礼節を忘れずに講義に臨むこと。 講義に必要な資料は、各講義中に配布する。
アクティブ・ラーニングの実施	振り返り学習(双方向型Minute Paper)、
ナンバリング	NSm-101

講義科目名称： 成人看護方法論

授業コード： 5N091

英文科目名称： Adult Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	萩原 英子	金子吉美	木村 美香

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-201	

講義科目名称： 慢性期看護論

授業コード： 5N092

英文科目名称： Chronic Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美	萩原 英子	堀越 政孝	木村 美香
	日下田 那美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-202	

講義科目名称： 周術期看護論

授業コード： 5N093

英文科目名称： Perioperative Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越 政孝	木村 美香	日下田 那美

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-301	

講義科目名称： クリティカルケア看護論

授業コード： 5N094

英文科目名称： Critical Care Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 美香	萩原 英子	堀越 政孝	金子吉美

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-302	

講義科目名称： 成人看護学演習

授業コード： 5N095

英文科目名称： Practice in Adult Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美	萩原 英子	堀越 政孝	木村 美香
	日下田 那美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-303	

講義科目名称： 救急看護

授業コード： 5N096

英文科目名称： Paramedic Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越 政孝	金子吉美	木村 美香
	日下田 那美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践、専門性の探求	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-401	

講義科目名称： 成人看護学特論

授業コード： 5N097

英文科目名称： Advanced Adult Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越 政孝	金子 吉美	木村 美香
	川尻 洋美	関根 奈光子	高草木 由里・田村 千佳子

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSm-402	

講義科目名称： 老年看護学総論

授業コード： 5N098

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
福島 昌子			

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 講義ガイダンス、ライフサイクルにおける老年期の特徴 (講義) 老いるということ、ライフサイクルにおける老年期について学習する。 キーワード：高齢者イメージ、老い、言葉の定義、ライフサイクル、発達理論・発達課題 ※準備学習あり</p> <p>第2回 高齢社会および高齢者の健康と生活 (講義) 統計からみる高齢社会、高齢者の健康、高齢者の生活について学習する。 キーワード：高齢社会、高齢化国際比較、健康に関わる言葉 (健康寿命・受療率)、世帯構成・経済・雇用</p> <p>第3回 加齢とからだ、こころ (講義) 加齢による身体的変化、心理・社会的変化の特徴について学習する。 キーワード：加齢変化、恒常性維持機能、生理的老化・病的老化、心理的機能、社会的機能</p> <p>第4回 社会学的視点から見た高齢者 (講義) 老年期の役割機能、社会参加、経済的基盤について学習する。 キーワード：家族システム、社会問題、ウェルビーイング、社会参加、QOL</p> <p>第5回 高齢者の健康を支援する制度・システム (講義) 高齢者の保健・医療・福祉システム・高齢者医療の仕組みについて学習する。 キーワード：老人保健医療福祉政策、介護保険制度・地域包括ケアシステム、高齢者医療制度</p> <p>第6回 高齢者の倫理的課題 (講義) 高齢者の権利擁護、高齢者虐待、身体拘束について学習する。 キーワード：権利擁護、意思決定支援、成年後見制度、高齢者虐待、身体拘束</p> <p>第7回 高齢者理解と老年看護の役割 (講義) 高齢者のライフストーリーインタビューを通して高齢者理解を深める。 ライフストーリーインタビューの発表と解説、講評。 ※事前課題「身近な高齢者のライフストーリー」は、各自で印刷し、第7回講義終了時に提出。 老年看護の機能と役割について学習する。 キーワード：老年看護学、老年看護の目標・役割・機能</p> <p>第8回 高齢者疑似体験 (講義) 老化・高齢者疑似体験をと通して高齢者理解を深める。 ※体験を通じた意見交換 キーワード：加齢変化、老年看護の役割</p>	<p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p> <p>福島 昌子</p>
科目の目的	ライフサイクルにおける老年期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、老年期にある人々の健康問題の特徴、国内外の高齢者保健および看護の機能・特性を学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルにおける老年期の位置づけおよびからだ・こころ・生活の特徴を説明できる。 2. 老年期における健康問題の特徴、国内外の高齢者医療ならびに看護の機能・特性を説明できる。 3. 高齢者に関わる倫理課題、高齢者の尊厳について説明できる。 4. 老年期にある人々の健康を支援する制度、システムについて説明できる。 5. 老年看護の目標および、機能・役割について説明できる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目	高齢者の健康と障害、老年看護方法論、老年看護学演習、老年看護学特論、老年看護学実習	
成績評価方法・基準	<p>期末試験 (90%) 評価対象レポート課題：「ライフストーリーインタビュー」 (10%)</p>	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業計画に沿って、講義4日前までにAAAにて資料を配付する。各自印刷するか、PCにダウンロードして授業に持参すること。 予習として、配付資料の内容確認と資料にある空欄を所定の教科書の内容を確認しながら事前に埋めて授業に臨むこと。 復習として、配付資料・教科書をよく読み返し、理解できたか確認すること。 *第1回講義までに、高齢者に対するイメージについて、各自考えてくること。 【授業外学習時間の目安について】 ・各回（全8回）の授業外学習時間として1コマあたり4時間程度は予習・復習に要することが見込まれる。
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学（医学書院）
参考書	使用しない
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	※講義4日前までにアクティブアカデミーアドバンスにて資料を配付する。配信期間は配信してから2週間とする。 毎回の授業の予習・復習に活用し、意欲的に授業に臨むこと。 ※講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、本講義と関係のない作業は禁止する。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループディスカッション、グループワーク
ナンバリング	NSn-101

講義科目名称： 老年看護方法論

授業コード： 5N099

英文科目名称： Gerontological Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子	着任予定者		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSn-201	

講義科目名称： 高齢者の健康と障害

授業コード： 5N100

英文科目名称： Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子	着任予定者		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSn-202	

講義科目名称： 老年看護学演習

授業コード： 5N101

英文科目名称： Practice in Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
福島 昌子	東泉 貴子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSn-301	

講義科目名称： 老年看護学特論

授業コード： 5N102

英文科目名称： Advanced Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
福島 昌子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSn-401	

講義科目名称： 小児看護学総論

授業コード： 5N103

英文科目名称： Introduction to Child Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSo-201	

講義科目名称： 小児看護方法論

授業コード： 5N104

英文科目名称： Child Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子	高野 直美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSo-202	

講義科目名称： 小児看護展開論

授業コード： 5N105

英文科目名称： Practice in Nursing Process of Child Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高野 直美	中下 富子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSo-301	

講義科目名称： 小児看護学演習

授業コード： 5N106

英文科目名称： Practice in Child Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子	高野 直美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSo-302	

講義科目名称： 小児看護学特論

授業コード： 5N107

英文科目名称： Advanced Child Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSo-401	

講義科目名称： 母性看護学総論

授業コード： 5N108

英文科目名称： Introduction to Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSp-201	

講義科目名称： 母性看護方法論

授業コード： 5N109

英文科目名称： Maternity Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSp-202	

講義科目名称： 母性看護展開論

授業コード： 5N110

英文科目名称： Practice in Nursing Process of Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	吉野めぐみ		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSp-301	

講義科目名称： 母性看護学演習

授業コード： 5N111

英文科目名称： Practice in Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	廣瀬 文乃	吉野めぐみ	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSp-302	

講義科目名称： 母性看護学特論

授業コード： 5N112

英文科目名称： Advanced Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSp-401	

講義科目名称： 精神看護学総論

授業コード： 5N113

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態	講義 (15回)	担当者
授業計画	第1回 現代社会における精神保健医療の現状と課題 精神保健の目的、日本及び国外の精神保健医療の現状と課題	西川 薫
	第2回 精神的健康の保持・増進 精神的健康の概念、Bio-Psycho-Socialモデル、精神障害の予防	西川 薫
	第3回 精神看護の対象者理解－生物学的領域 (1) 心身相関、大脳の構造と機能、脳の情報伝達の仕組み	西川 薫
	第4回 精神看護の対象者理解－生物学的領域 (2) メンタル・ステータス・イグザミネーション	西川 薫
	第5回 精神看護の対象者理解－心理学的領域 (1) 精神の構造と働き① フロイトの精神力動理論－構造論・局所論・発達論	西川 薫
	第6回 精神看護の対象者理解－心理学的領域 (2) 精神の構造と働き② フロイトの精神力動理論－適応論 (防衛機制)、対象関係論、マズローの欲求階層説	西川 薫
	第7回 精神看護の対象者理解－心理学的領域 (3) 精神の発達とその過程 マラーの分離個体化理論、エリクソンの漸成的発達理論	西川 薫
	第8回 精神看護の対象者理解－心理学的領域 (4) 精神の危機とその過程 アギュララの危機理論、ラザルスらのストレス理論	西川 薫
	第9回 精神看護の対象者理解－社会的領域 (1) 現代社会と精神的な危機 現代社会の特徴、家庭・学校・職場における危機、トラウマインフォームドケア	西川 薫
	第10回 精神看護の対象者理解－社会的領域 (2) 精神保健医療福祉の変遷と法律① 日本及び諸外国における精神医療の変遷、患者の権利擁護	西川 薫
	第11回 精神看護の対象者理解－社会的領域 (3) 精神保健医療福祉の変遷と法律② 精神保健福祉法の運用、安全管理	西川 薫
	第12回 精神看護の対象者理解－社会的領域 (4) 家族と社会資源 家族の精神の健康、精神保健医療福祉に関する社会資源、障害者総合支援法	西川 薫
	第13回 精神保健医療福祉における多職種連携 多職種連携と看護師の役割、精神科リエゾンチーム、災害派遣精神医療チーム	西川 薫
	第14回 精神看護を構成する基礎理論 (1) ペプロウの看護論、オレム-アンダーウッドのセルフケア理論	西川 薫
	第15回 精神看護を構成する基礎理論 (2) リカバリー、ストレングスモデル、コプロダクション	西川 薫
科目の目的	精神的健康の保持・増進を目指す対象者の全人的理解を深め、生物学的・心理学的・社会的な視点に基づく対象理解の在り方や、専門職として求められる制度的知識と倫理的態度を体系的に理解する。	
到達目標	1. 現代社会における精神保健医療の現状と課題を説明できる。 2. 精神的健康の概念と精神看護の概念、その理解に必要な多角的視点を説明できる。 3. 精神的健康を目指す対象者の理解に活用する基礎理論を説明できる。 4. 精神障害を抱える対象者の人権・権利擁護の重要性を認める。	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目	看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、コミュニケーション論、発達心理学、生命倫理、薬理学、社会福祉・社会保障制度論、臨床病態学Ⅱ、精神看護方法論、精神看護とリカバリー支援、精神看護学演習、精神看護学実習、統合実習	
成績評価方法・基準	定期試験 70% (筆記試験)、各回のリフレクションシート 30% ※定期試験は100点満点で実施するが得点を70点満点に換算して評価する。リフレクションシートは、各回30点満点で評価し、全15回の平均点を最終評価 (30点満点) とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 学習時間の目安は1コマあたり1時間。	
教科書	「精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 現代に生きる人々のこころの健康を支える 改訂第3版」萱間真美、稲垣中 (南江堂) 「精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 対象者の力を引き出し支える 改訂第3版」萱間真美、稲垣中 (南江堂)	
参考書	「情緒発達と精神看護の基本 第5版 (ナーシング・グラフィカ 精神看護学 1)」出口禎、鷹野朋美 (メディカ出版)	

	「[対話でリカバリーを支える]ストレングスモデル実践活用術 第2版」 萱間真美(医学書院)
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」 参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」 参照
履修条件・履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料は、前日までにActive Academy Advanceで配信するので各自が印刷し持参してください。 ・講義内容への質問がある場合、各回のリフレクションシートに記載してください。質問への回答は、次回の講義やActive Academy Advanceで回答します。
アクティブ・ラーニングの実施	リフレクションシートを活用した発見学習
ナンバリング	NSq-101

講義科目名称： 精神看護方法論

授業コード： 5N114

英文科目名称： Psychiatric Nursing Methods

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 和也	西川 薫		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSq-201	

講義科目名称： 精神看護とリカバリー支援

授業コード： 5N115

英文科目名称： Psychiatric Nursing and Recovery Support

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 和也			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSq-202	

講義科目名称： 精神看護学演習

授業コード： 5N116

英文科目名称： Practice in Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫	佐藤 和也		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSq-301	

講義科目名称： 精神看護学特論

授業コード： 5N117

英文科目名称： Advanced Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSq-401	

講義科目名称： 看護学への誘い

授業コード： 5N118

英文科目名称： Invitation to nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	小林・中下・西川・萩原英・中島・奥野	堀越・金子吉・堀込・橋爪・木村・福島	大川・長嶺・反町・東泉・高野・佐藤
	川尻・村田・日下田・廣瀬・吉野・	森田・林恵	

授業形態	講義7回, 演習8回		担当者
授業計画	第1回	インTRODクシヨン・看護の理解①（講義） ・大学で学ぶ看護学の概要 ・基礎看護学とは	萩原一美 ①堀込由紀
	第2回	看護の理解②③（講義） ・小児看護学とは ・精神看護学とは	②中下富子 ③西川薫
	第3回	看護の理解④（講義） ・成人看護学とは ・総合病院で働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	④萩原英子
	第4回	看護の理解⑤（講義） ・老年看護学とは ・療養病棟、地域包括ケア病棟で働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	⑤東泉貴子
	第5回	看護の理解⑥（講義） ・公衆衛生看護学とは ・市町村保健センターで働く保健師の実際（ゲストスピーカー1名）	⑥奥野みどり
	第6回	看護の理解⑦（講義） ・地域・在宅看護学とは（講義） ・訪問看護ステーションで働く看護師の実際（ゲストスピーカー1名）	⑦反町真由
	第7回	看護の理解⑧ GWガイダンス（講義） ・母性看護学とは、助産学とは ・病院で働く助産師の実際（ゲストスピーカー1名）	⑧中島久美子
	第8回	課題解決技法の獲得①（演習） ・GW ガイダンス ・テーマの決定、今後のGWスケジュールの立案	萩原一美 各グループ 担当教員
	第9回	課題解決技法の獲得②（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・調査内容の分担（HW） ・調査	各グループ 担当教員
	第10回	課題解決技法の獲得③（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	各グループ 担当教員
	第11回	課題解決技法の獲得④（演習） ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する ・発表内容、方法の整理	各グループ 担当教員
	第12回	課題解決技法の獲得⑤（演習） ・発表内容、方法の討議 ・発表用媒体の作成 [最終レポート提出]	各グループ 担当教員
	第13回	課題解決技法の獲得⑥（演習） ・発表内容、方法の検討 ・発表用媒体の作成 ・発表の練習	各グループ 担当教員
	第14回	課題解決技法の獲得⑦（演習） ・発表用媒体の完成、提出 ・発表の練習	各グループ 担当教員
	第15回	発表会 ・プレゼンテーション技法の活用	看護学科全 教員

科目の目的	保健・医療・福祉に携わる看護職の機能と役割について理解を促し、看護に対する興味・関心を深められるよう導く。また、グループワークを通して、看護職として必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題解決能力を育てる。
到達目標	1. 対象や活動の場の特性に応じた看護職(看護師・保健師・助産師)の機能と役割を説明できる。 2. 自分自身の目指す看護師像と、そこに至るための今後の大学生活における目標を述べることができる。 3. グループでテーマを設定し、必要な情報を収集・整理して結論を導くことができる。 4. 相手の意見を尊重しながら自分の考えを述べ、グループのメンバーと協働できる。 5. グループワークの成果を分かりやすく、説得力をもって発表できる。
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度
関連科目	生命倫理、スタディ・スキルズ、アカデミック・スキルズ、多職種理解と医療コミュニケーション、看護学概論Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	グループワーク学生評価(35点)、成果発表会(30点)、看護の理解最終レポート(35点)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に出席する前に、講義で取り上げる内容について調べた上で出席すること。また、グループワークにおいても担当した内容については、十分に調べ、理解をした上で参加すること。準備学習時間に必要な学習時間の目安は1コマあたりに1時間である。
教科書	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	本科目は学生自身の主体的かつ積極的な学習が必須の科目であることを理解したうえで参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	課題解決学習、グループワーク
ナンバリング	NSr-101

講義科目名称： 国際看護論

授業コード： 5N119

英文科目名称： International Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺 めぐみ	堀込 由紀		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	地域社会への貢献、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSr-201	

講義科目名称： 臨床看護過程演習

授業コード： 5N120

英文科目名称： Practice in Fundamental Clinical Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝	堀越 政孝		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSr-202	

講義科目名称： 災害看護論

授業コード： 5N121

英文科目名称： Disaster Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	着任予定者		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSr-301	

講義科目名称： 臨床看護管理学

授業コード： 5N122

英文科目名称： Clinical Nursing Administration and Policies

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	堀込 由紀		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	協調・協働、専門性の探求	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSr-401	

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論

授業コード： 5N123

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	廣田幸子	中下富子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-201	

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論

授業コード： 5N124

英文科目名称： Public Health Nursing Skills Method

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	奥野 みどり		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-202	

講義科目名称： 成人・高齢者保健活動論

授業コード： 5N125

英文科目名称： Health Activities for Adults and Seniors Theory

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	依田 裕子	小林 亜由美	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-203	

講義科目名称： 親子保健活動論

授業コード： 5N126

英文科目名称： Parent-Child Health Activities Theory

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-301	

講義科目名称： 障害者・感染症の保健活動論

授業コード： 5N127

英文科目名称： Health Activities for People with Disabilities and Infectious Diseases Theory 対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
矢島 正栄	川尻 洋美	依田 裕子	
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSs-401		

講義科目名称： 学校・産業保健活動論

授業コード： 5N128

英文科目名称： School Health and Industrial Health Activities Theory

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中下 富子	廣田幸子		
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSs-402		

講義科目名称： 個人・家族の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 5N129

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills for
Individuals & Families

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり	小林 亜由美	川尻 洋美	
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSs-403		

講義科目名称： 集団・地域の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 5N130

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills for
Groups & Communities

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	奥野 みどり	小林 亜由美	
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSs-404		

講義科目名称： 公衆衛生看護活動展開論

授業コード： 5N131

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Activities

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-405	

講義科目名称： 地域保健政策論

授業コード： 5N132

英文科目名称： Community Health Policy

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林 亜由美	依田 裕子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護の実践、協調・協働、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-406	

講義科目名称： 事業化・施策化演習

授業コード： 5N133

英文科目名称： Healthcare Business Development and Policy
Implementation Exercise

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
川尻 洋美	奥野 みどり	小林 亜由美	矢島 正栄
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働、地域社会への貢献		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSs-407		

講義科目名称： 公衆衛生看護管理

授業コード： 5N134

英文科目名称： Public Health Nursing Administration

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	協調・協働、専門性の探求、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSs-408	

講義科目名称： 助産学概論

授業コード： 5N135

英文科目名称： Introduction to Midwifery

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、専門性の探求、国際的な視野	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-301	

講義科目名称： 母子と家族の心理・社会学

授業コード： 5N136

英文科目名称： Psychosociology for Mother, Child and Family

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	岡崎友香	千明理恵	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-302	

講義科目名称： 助産基礎医学

授業コード： 5N137

英文科目名称： Basic Medicine for Midwifery

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	秋元かつみ		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-401	

講義科目名称： 周産期診断学

授業コード： 5N138

英文科目名称： Perinatal Diagnostics

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
家坂 直子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-402	

講義科目名称： 妊娠期助産診断技術学

授業コード： 5N139

英文科目名称： Gestation Period Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃	中島 久美子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-403	

講義科目名称： 分娩期助産診断技術学

授業コード： 5N140

英文科目名称： Intrapartum Period Midwifery Diagnostic Technology 対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃	中島 久美子	橋爪 由紀子	吉野めぐみ

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-404	

講義科目名称：産褥期助産診断技術学

授業コード：5N141

英文科目名称：Puerperium Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム：2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-405	

講義科目名称： 新生児・乳幼児期助産診断技術学

授業コード： 5N142

英文科目名称： Neonatal and Infant Period Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
吉野 めぐみ			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSt-406		

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学

授業コード： 5N143

英文科目名称： High Risk Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
吉野 めぐみ	廣瀬 文乃	橋爪 由紀子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-407	

講義科目名称： 助産診断技術学演習

授業コード： 5N144

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃	中島 久美子	橋爪 由紀子	吉野めぐみ

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-408	

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学演習

授業コード： 5N145

英文科目名称： Practice in High Risk Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
吉野 めぐみ	中島 久美子	橋爪 由紀子	廣瀬 文乃
	六川俊一	遠藤究	
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働		
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施			
ナンバリング	NSt-409		

講義科目名称： 地域母子保健論

授業コード： 5N146

英文科目名称： Community maternal and child health

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	眞下由利子	遠藤 美千恵	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、協調・協働、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-410	

講義科目名称： 助産管理

授業コード： 5N147

英文科目名称： Midwifery Administration

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
新野 由子	前川 智美	高橋 美鈴	遠藤 美千恵

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	協調・協働、専門性の探求、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSt-411	

講義科目名称： 看護基礎実習

授業コード： 5N148

英文科目名称： Basic Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
大川 美千代	萩原 一美	堀込 由紀	長嶺めぐみ
	村田 亜夕美	森田 綾子	

授業形態	【実習（1週間）】	担当者
授業計画	<p>実習内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の構造・機能、地域医療の中での役割を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護部のオリエンテーション、部門見学 2) 病棟オリエンテーション、病棟見学 2. 病院で働く看護職及び他の様々な職種の役割を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師の援助場面に同行 2) 病棟でのカンファレンス 3) 看護部のオリエンテーション 3. 対象との関係を成立させるコミュニケーションを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師と患者のコミュニケーション場面の見学 傾聴・受容的態度、言語的・非言語的コミュニケーション 2) 患者とコミュニケーション 4. コミュニケーションをとおしての自己の課題と解決策を考える。 <ol style="list-style-type: none"> 1) プロセスレコードによる自己のコミュニケーションの振り返り 2) コミュニケーションにおける自己の傾向と課題と解決策 5. 看護者の役割と責務、看護の目的を考える。 実習をとおしての学びとしてレポート記述 <p>実習期間・時間 2027年：2月の1週間（9：00～16：00）</p> <p>実習場所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院実習：高崎総合医療センター 2. 学内実習（大学内 講義室） <p>実習のすすめ方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内オリエンテーション：学内 実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価、留意事項について教員が説明を行う。 2) 病院実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 病院オリエンテーション：高崎総合医療センター <ol style="list-style-type: none"> ①病院の機能、構造、役割 ②看護部の役割、チーム医療 (2) 病棟オリエンテーション 病棟の特徴、看護体制、構造などを実習指導者より説明を受ける。 (3) 選定された患者とのコミュニケーション (4) 看護師の看護援助場面の見学 3) 学内実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入院患者の身体的・心理的・社会的特徴の特徴を理論と実際を比較し考察する。 (2) 患者とのコミュニケーションから、自己のコミュニケーション能力を分析し考察する。 	萩原・堀込・大川・長嶺・村田・森田
科目の目的	コミュニケーションをとおして看護の対象とその生活環境を理解し、看護の役割を考えることを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象が療養する場としての病院の環境を説明できる。 2. 対象が療養する場での生活について説明できる。 3. 会話をとおして、看護の対象の特徴を説明できる。 4. 対象とのコミュニケーションをとおして自己を振り返り、課題に気づくことができる。 5. 実習をとおして、看護師の役割と責任及び看護の目的を説明できる。 6. 看護学生として積極的に学び、責任ある行動をとることができる。 	
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解	
関連科目	<p>教養科目群：教育学、生命倫理、基礎栄養学、メディアリテラシー</p> <p>専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ 基礎看護技術演習 コミュニケーション論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ</p> <p>地域在宅看護学総論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神看護学概論</p>	
成績評価方法・基準	看護基礎実習の評価表に準じ評価する（100%）。評価にあたっては、実習の出席日数、実習中の学習・事前・事後学習への取り組みを勘案して総合的に評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習は、別途提示する。	

教科書	教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I・II 医学書院 教科書2：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 第18版 医学書院
参考書	実習開始前に提示する。
オフィス・アワー	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-オフィス・アワー」参照
国家試験出題基準	「Active Academy Advance-Webフォルダ-教務課-国家試験出題基準」参照
履修条件・履修上の注意	病院実習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用する。また、実習要項を熟読の上、積極的な姿勢で臨む。 履修条件：学生便覧 履修の手引き「臨地実習・臨床実習科目」の欄を参照する。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習・発見学習・問題解決学習
ナンバリング	NSu-101
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉 今日子（看護師）、萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺 めぐみ（看護師）、村田 亜夕美（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	療養生活支援実習及び臨床看護実習、地域・在宅看護実習の基盤の実習となるよう、従来の病院での療養者（患者）だけを対象とするのではなく、さまざまな場（環境）で生活する看護の対象を理解する。対象を理解する上で必要な、コミュニケーションの基本「聴く」「書く」「話す」を通して、自己のコミュニケーションを振り返る。

講義科目名称： 療養生活支援実習

授業コード： 5N149

英文科目名称： Nursing Practice in Hospitalized Life Support

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原 一美	千葉 今日子	長嶺めぐみ
	村田亜夕美	森田 綾子	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-201	

講義科目名称： 臨床看護基盤実習

授業コード： 5N150

英文科目名称： Fundamental Clinical Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-202	

講義科目名称： 地域・在宅看護学実習

授業コード： 5N151

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由	小林 亜由美	林 恵	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-301	

講義科目名称： 成人看護学実習

授業コード： 5N152

英文科目名称： Adult Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	堀越 政孝	金子吉美	木村 美香
	日下田 那美		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-302	

講義科目名称： 老年看護学実習

授業コード： 5N153

英文科目名称： Gerontological Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	3単位	必修
担当教員	担当者		
東泉 貴子	福島 昌子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-303	

講義科目名称： 小児看護学実習

授業コード： 5N154

英文科目名称： Child Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高野 直美	中下 富子		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-304	

講義科目名称： 母性看護学実習

授業コード： 5N155

英文科目名称： Maternity Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
橋爪 由紀子	廣瀬 文乃	吉野めぐみ	

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-305	

講義科目名称： 精神看護学実習

授業コード： 5N156

英文科目名称： Psychiatric Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 和也	西川薫		

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-306	

講義科目名称： 統合実習

授業コード： 5N157

英文科目名称： Integrated Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	看護職としての態度、対象の理解、看護の実践、協調・協働、専門性の探求、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-401	

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習

授業コード： 5N158

英文科目名称： Public Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	5単位	選択
担当教員	担当者		
奥野 みどり	小林 亜由美	川尻 洋美	矢島正榮

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働、専門性の探求、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-402	

講義科目名称： 助産学実習

授業コード： 5N159

英文科目名称： Midwifery Practicum

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	11単位	選択
担当教員	担当者		
中島 久美子	橋爪 由紀子	廣瀬 文乃	吉野めぐみ

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	対象の理解、看護の実践、協調・協働、専門性の探求、地域社会への貢献	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSu-403	

講義科目名称： 看護研究概説

授業コード： 5N160

英文科目名称： Introduction to Nursing Research

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSv-301	

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 5N161

英文科目名称： Nursing Research

対象カリキュラム： 2026年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
中島 久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2026年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
「ディプロマ・ポリシー」キーワード	専門性の探求	
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書		
参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		
ナンバリング	NSv-401	